

新型コロナウイルス感染症の影響及び
岸和田市の産業振興に関する事業者アンケート調査
結果報告書

令和３年９月

岸和田市

目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書の見方.....	1
II アンケート調査結果.....	2
1 貴社について.....	2
2 新型コロナウイルス感染症による経営への影響について.....	7
3 既存事業と新規事業について.....	13
4 人材について.....	22
5 市の取り組みについて.....	29
6 将来の岸和田市の産業にとって重要なキーワードについて.....	31

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している中、事業者を取り巻く状況が変化していることが推察されることから、経営実態を把握し、今後の市の施策の参考とするため実施しました。

また、新たな「産業振興ビジョン」及び「産業振興新戦略プラン」を策定するため、改めて現場の実情を把握することが必要となっていることから、今後、個別・具体的な支援の方法を検討する参考とするため、本調査を実施しました。

2 調査概要

調査対象者： 市内の事業者

調査期間： 令和3年7月13日（火）～7月28日（水）

調査方法： 郵送配布・郵送回収による本人記入方式

3 回収結果

有効配布数	有効回収数	有効回収率
2,927 件	717 件	24.5%

4 報告書の見方

◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

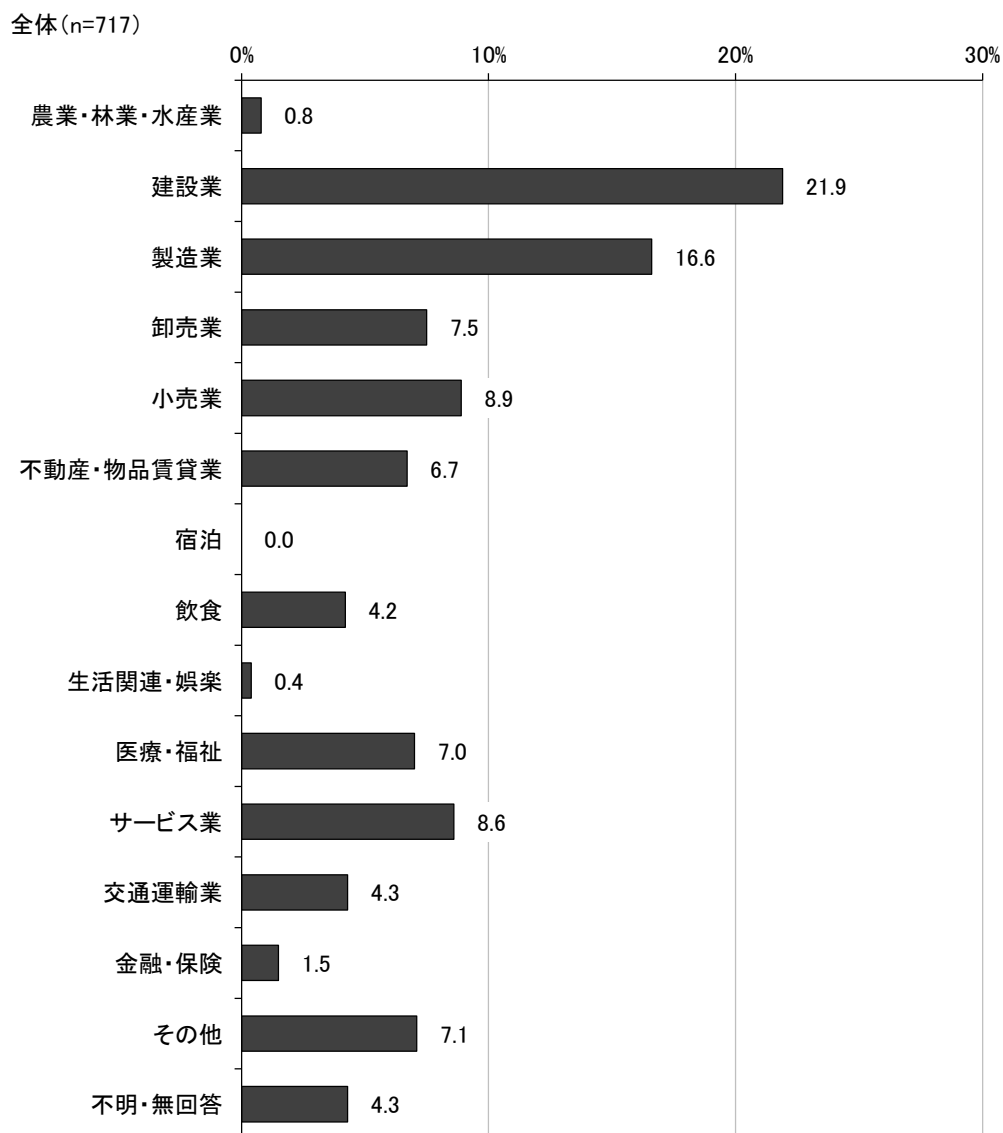
◇n数が10未満の場合、分析文では触れていません。

Ⅱ アンケート調査結果

1 貴社について

問1 貴社の業種(主な事業)を教えてください。(〇は1つ)

業種についてみると、「建設業」が21.9%と最も高く、次いで「製造業」が16.6%、「小売業」が8.9%となっています。

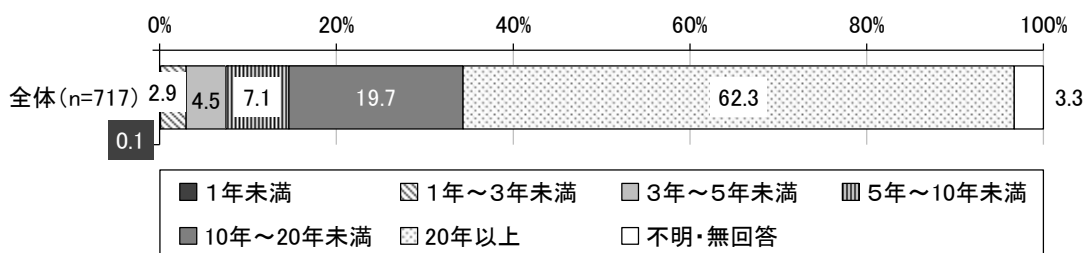


【その他の回答】

記述内容	件数	記述内容	件数
貿易	2	幼児教育、保育	2
自動車整備	1	自動車販売など	1
自動車販売、整備	1	自動車部品	1
アパレル物流業	1	コンピューターソフトウェア開発	1
一般廃棄物処理業	1	産業廃棄物処理業	1
医療機器・消耗品販売、医療コンサルティング	1	仕入れ、販売	1
印刷業	1	消防設備業	1
運送業	1	船舶修理業	1
エンジニアリング	1	葬祭関係	1
環境、水質汚染防止装置の維持管理	1	測量業	1
管工事	1	ソフトウェア開発	1
機械修理	1	卓球指導	1
機械設計及び貿易	1	電気工事業	1
機械の電気設計	1	電気工事業、医療機器販売	1
企業相手の販売	1	塗装業	1
牛乳宅配業	1	荷役業	1
経営管理業	1	認定こども園	1
警備業、清掃	1	ビルメンテナンス	1
建築設計業	1	防犯機器設置工事、販売	1
工業	1	法律事務所	1
構造解析サービス業	1	港湾運送業	1
交通整備業	1	リサイクル	1
コンサルティング業	1		

問2 貴社の現在の所在地での事業継続年数は、何年ですか。(〇は1つ)

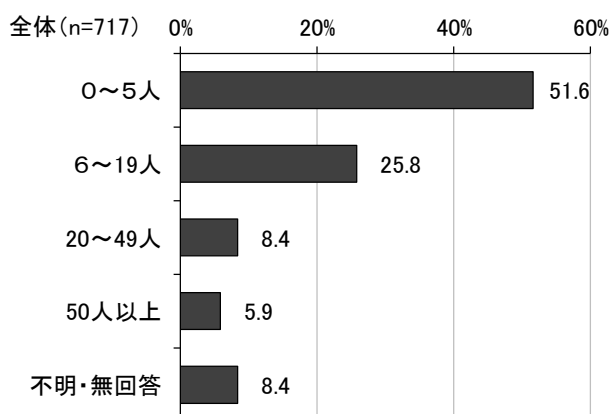
現在の所在地での事業継続年数についてみると、「20年以上」が62.3%と最も高く、次いで「10年～20年未満」が19.7%、「5年～10年未満」が7.1%となっています。



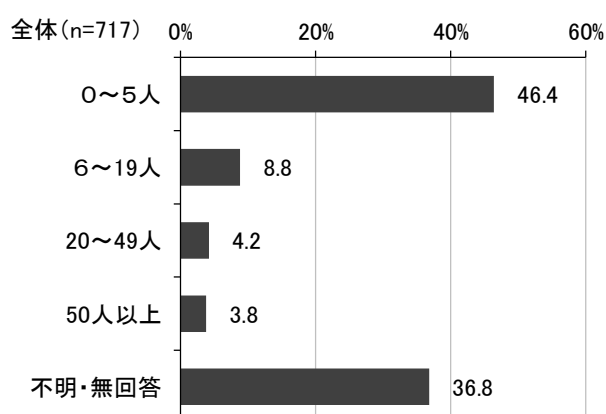
問3 従業員の人数を記入してください（経営者は含みません）。（数量回答）

従業員の人数についてみると、正規従業員数では「0～5人」が51.6%と最も高く、次いで「6～19人」が25.8%、「20～49人」が8.4%となっています。また、パート・派遣者など非正規従業員数では「0～5人」が46.4%と最も高く、次いで「6～19人」が8.8%、「20～49人」が4.2%となっています。

【正規従業員数】

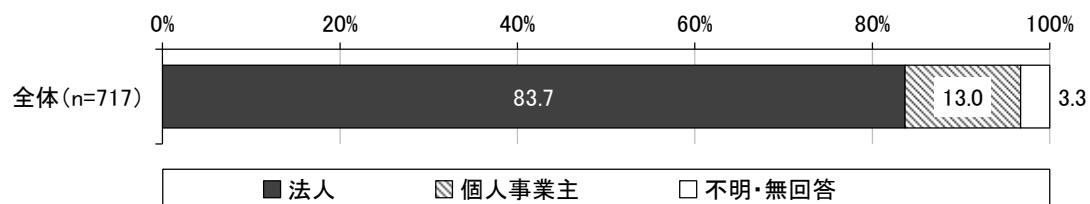


【パート・派遣者など非正規従業員数】



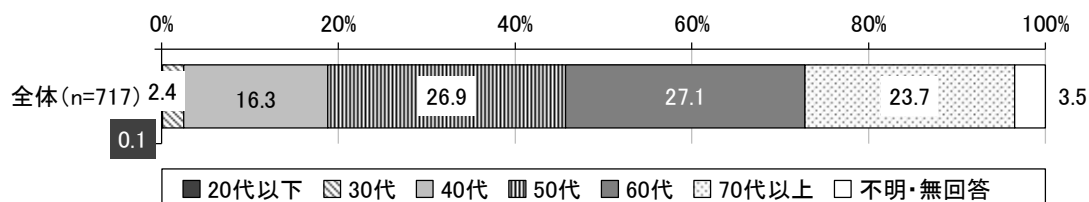
問4 法人か個人事業主かを教えてください。(○は1つ)

法人か個人事業主かについてみると、「法人」が83.7%、「個人事業主」が13.0%となっています。



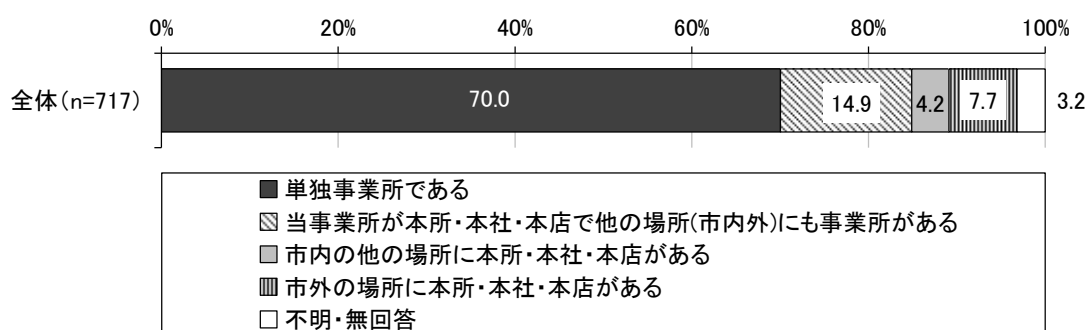
問5 経営者の年齢を教えてください。(○は1つ)

経営者の年齢についてみると、「60代」が27.1%と最も高く、次いで「50代」が26.9%、「70代以上」が23.7%となっています。



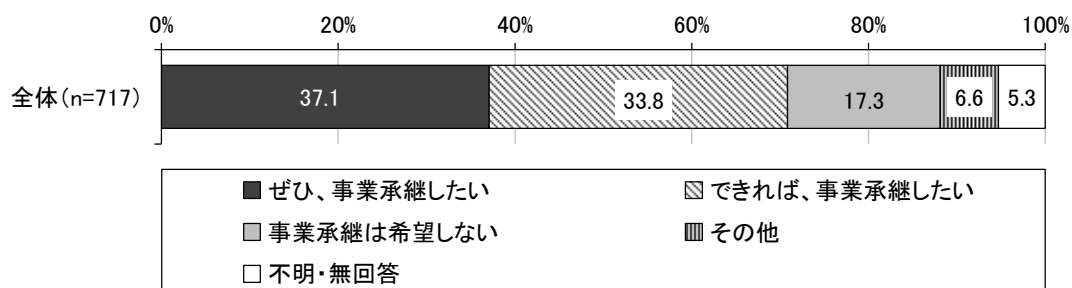
問6 市内事業所の機能を教えてください。(○は1つ)

市内事業所の機能についてみると、「単独事業所である」が70.0%と最も高く、次いで「当事業所が本所・本社・本店で他の場所(市内外)にも事業所がある」が14.9%、「市内の他の場所に本所・本社・本店がある」が4.2%、「市外の場所に本所・本社・本店がある」が7.7%となっています。



問7 事業承継の意向について教えてください。(〇は1つ)

事業承継の意向についてみると、「ぜひ、事業承継したい」が37.1%と最も高く、次いで「できれば、事業承継したい」が33.8%、「事業承継は希望しない」が17.3%となっています。

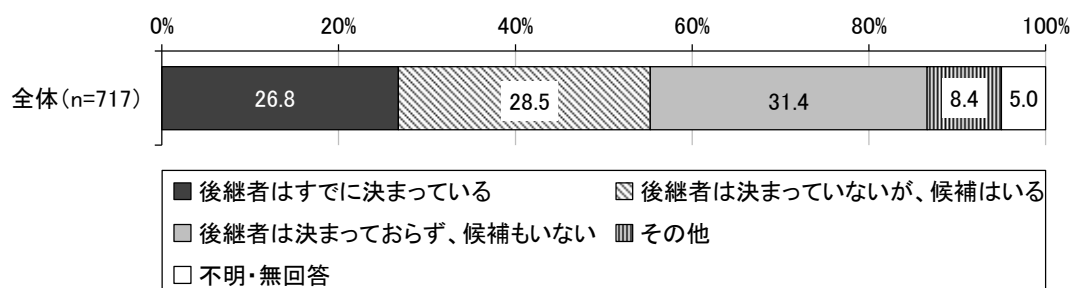


【その他の回答】

記述内容	件数	記述内容	件数
事業承継済み	8	検討中	4
事業承継する予定である	2	今は考えていない	1
岸和田市関連施設	1	必要がない	1
どちらでも良い	1	どちらともいえない	1
社員の意向による	1	上場企業である	1
廃業予定である	1	生協である	1
M&A	1	後継者はいる	1

問8 後継者の予定はいかがですか。(〇は1つ)

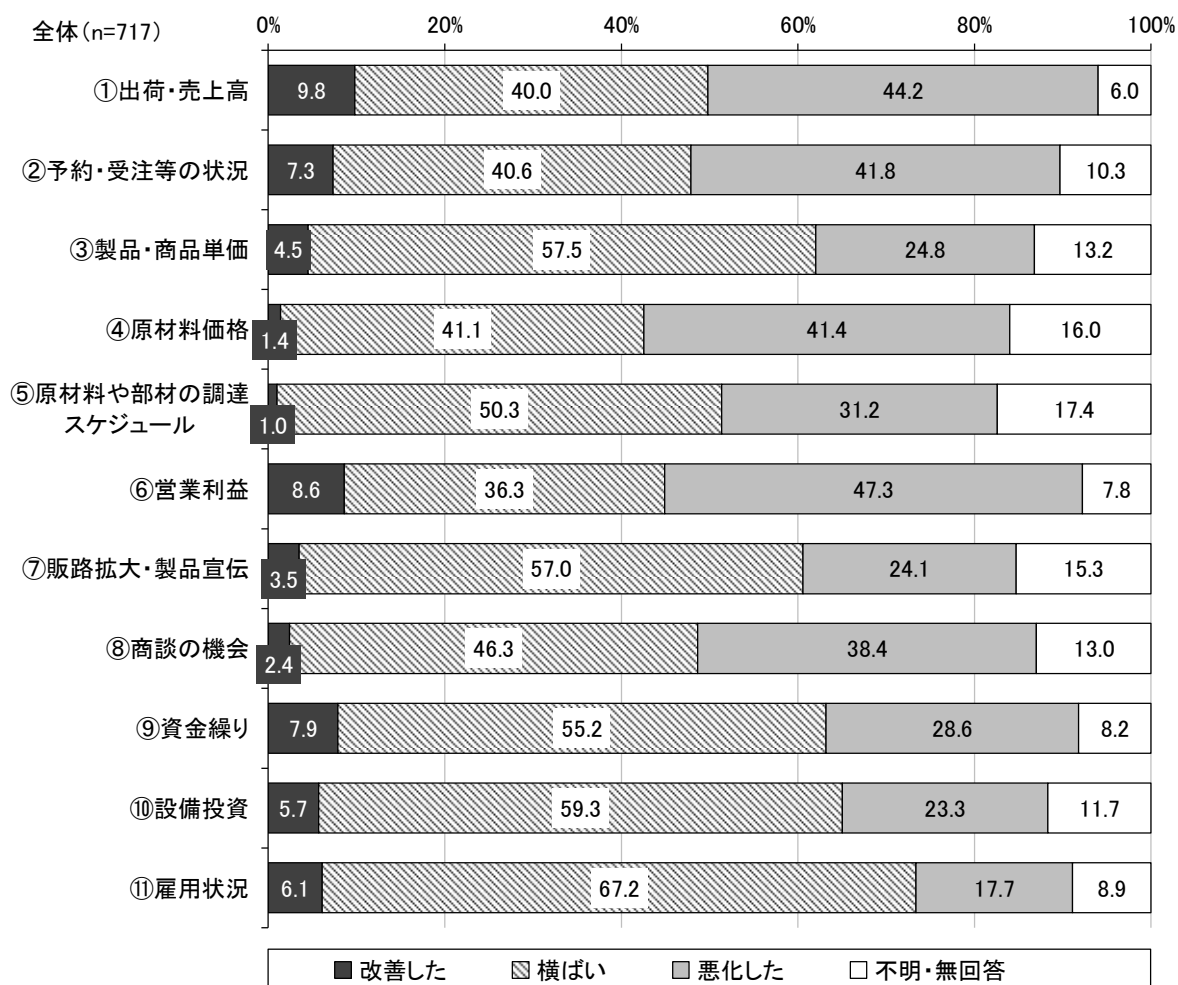
後継者の予定についてみると、「後継者は決まっておらず、候補もいない」が31.4%と最も高く、次いで「後継者は決まっていないが、候補はある」が28.5%、「後継者はすでに決まっている」が26.8%となっています。



2 新型コロナウイルス感染症による経営への影響について

問9 直近の業況(令和2年10月～令和3年6月)と前年同期(令和元年10月～令和2年6月)と比較して、以下の項目についてお答えください。(各項目〇は1つ)

直近の業況と前年同期の比較についてみると、①出荷・売上高、②予約・受注等の状況、④原材料価格、⑥営業利益では「悪化した」が最も高く、次いで「横ばい」、「改善した」となっています。③製品・商品単価、⑤原材料や部材の調達スケジュール、⑦販路拡大・製品宣伝、⑧商談の機会、⑨資金繰り、⑩設備投資、⑪雇用状況では「横ばい」が最も高く、次いで「悪化した」、「改善した」となっています。



①出荷・売上高

出荷・売上高の前年同期比で増減した割合をみると、「改善した」では「10～19%」が21.4%と最も高く、次いで「70%以上」が12.9%、「10%未満」が11.4%となっています。「悪化した」では「10～19%」が17.0%と最も高く、次いで「30～39%」が13.6%、「20～29%」が13.2%となっています。

出荷・売上高の前年同期比で増減した割合の経年比較をみると、「改善した」では令和2年から「10%未満」が15.9ポイント低く、「悪化した」では令和2年から「30～39%」が5.7ポイント低くなっています。

経年比較をみると、令和2年から「悪化した」が16.9ポイント低く、「横ばい」が18.0ポイント高くなっています。

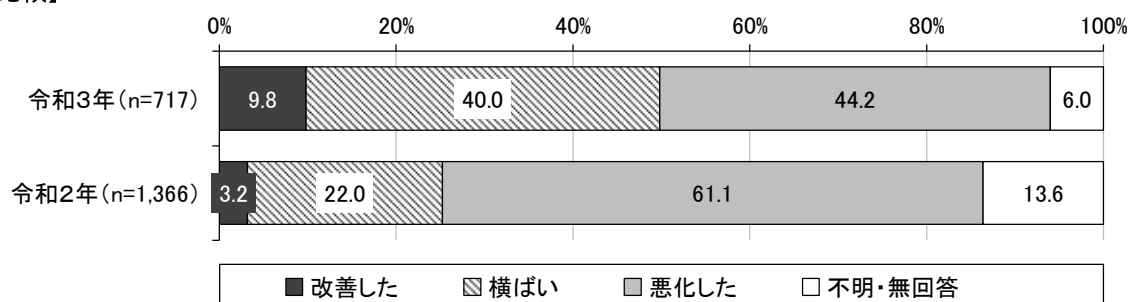
【前年同期比で増減した割合】

単位：%	10%未満	10%～19%	20%～29%	30%～39%	40%～49%	50%～59%	60%～69%	70%以上	不明・無回答
改善した(n=70)	11.4	21.4	8.6	5.7	4.3	1.4	0.0	12.9	34.3
悪化した(n=317)	5.7	17.0	13.2	13.6	7.3	8.2	2.8	12.6	19.6

【経年比較(前年同期比で増減した割合)】

単位：%		10%未満	10%～19%	20%～29%	30%～39%	40%～49%	50%～59%	60%～69%	70%以上	不明・無回答
令和3年	改善した(n=70)	11.4	21.4	8.6	5.7	4.3	1.4	0.0	12.9	34.3
	悪化した(n=317)	5.7	17.0	13.2	13.6	7.3	8.2	2.8	12.6	19.6
令和2年	改善した(n=44)	27.3	22.7	11.4	9.1	2.3	9.1	2.3	9.1	6.8
	悪化した(n=835)	4.4	13.1	18.1	19.3	8.6	12.6	4.9	10.5	8.5

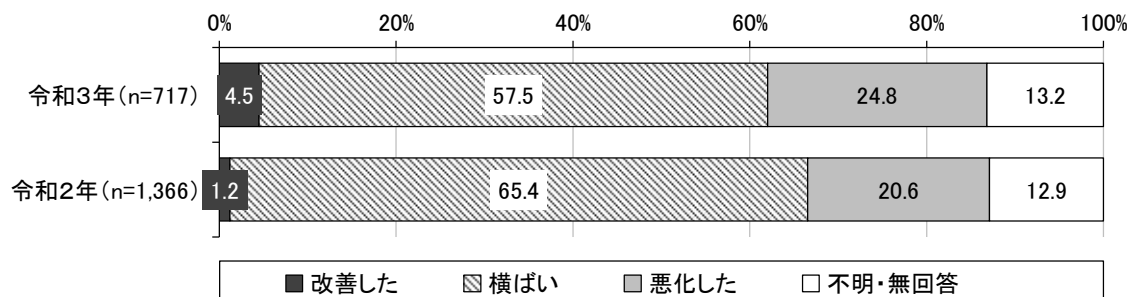
【経年比較】



③製品・商品単価

経年比較をみると、令和2年から「横ばい」が7.9ポイント低く、「悪化した」が4.2ポイント高くなっています。

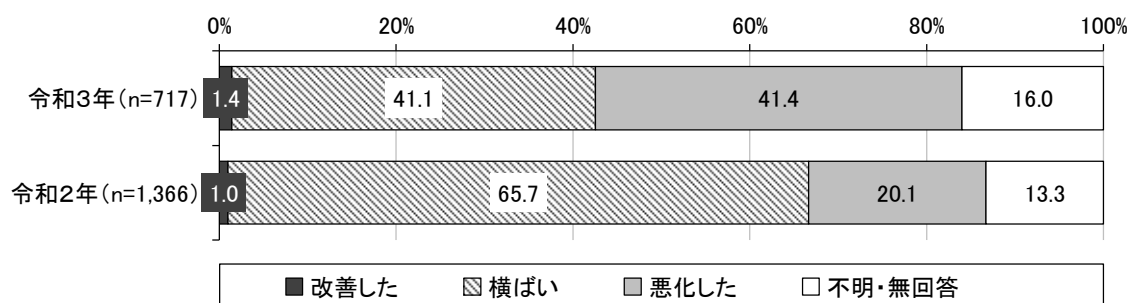
【経年比較】



④原材料価格

経年比較をみると、令和2年から「横ばい」が24.6ポイント低く、「悪化した」が21.3ポイント高くなっています。

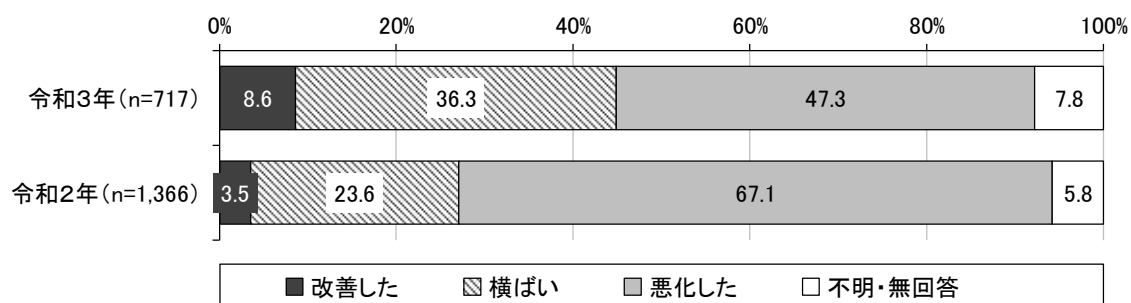
【経年比較】



⑥営業利益

経年比較をみると、令和2年から「悪化した」が19.8ポイント低く、「横ばい」が12.7ポイント高くなっています。

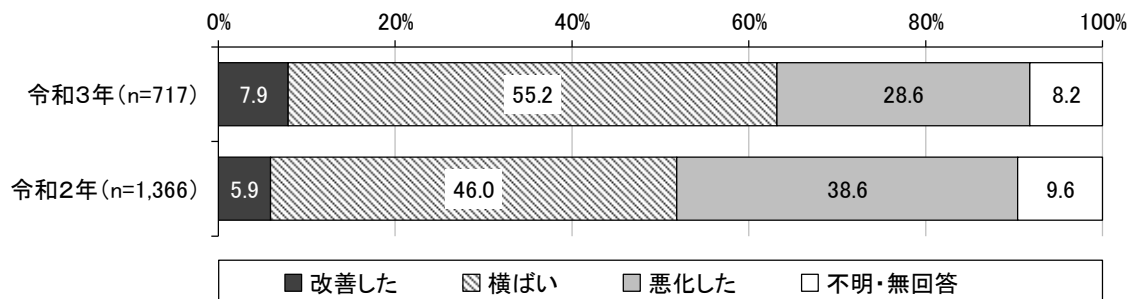
【経年比較】



⑨資金繰り

経年比較をみると、令和2年から「悪化した」が10.0ポイント低く、「横ばい」が9.2ポイント高くなっています。

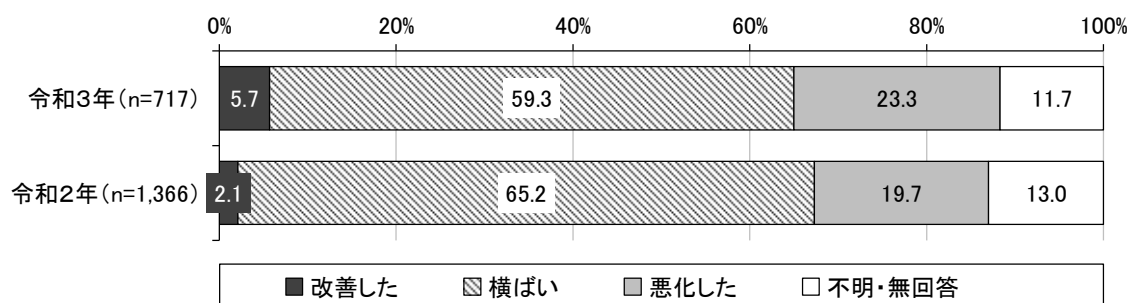
【経年比較】



⑩設備投資

経年比較をみると、令和2年から「横ばい」が5.9ポイント低く、「改善した」「悪化した」が3.6ポイント高くなっています。

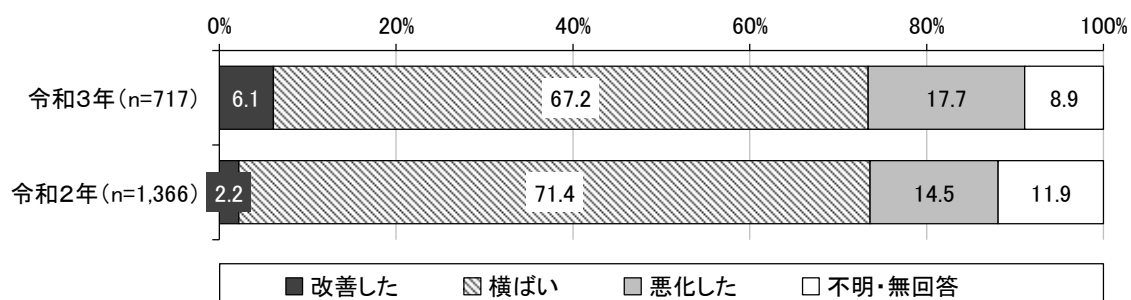
【経年比較】



⑪雇用状況

経年比較をみると、令和2年から「横ばい」が4.2ポイント低く、「改善した」が3.9ポイント高くなっています。

【経年比較】

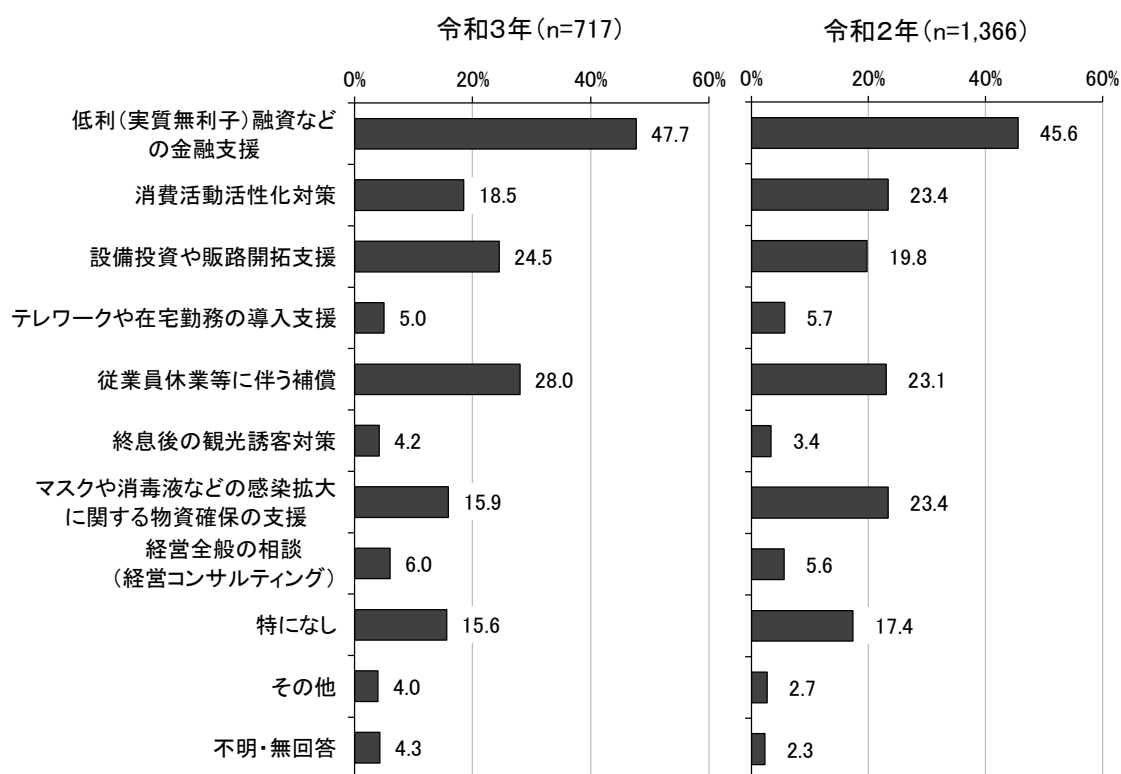


※②予約・受注等の状況、⑤原材料や部材の調達スケジュール、⑦販路拡大・製品宣伝、⑧商談の機会は令和3年のみの項目

問 10 新型コロナウイルス感染症拡大により、行政(国・府・市)や中小企業支援機関、経済団体などに期待する支援策を教えてください。(〇は最大3つまで)

新型コロナウイルス感染症拡大により、行政や中小企業支援機関、経済団体などに期待する支援策についてみると、「低利(実質無利子)融資などの金融支援」が47.7%と最も高く、次いで「従業員休業等に伴う補償」が28.0%、「設備投資や販路開拓支援」が24.5%となっています。

経年比較をみると、令和2年から「マスクや消毒液などの感染拡大に関する物資確保の支援」が7.5ポイント低く、「従業員休業等に伴う補償」が4.9ポイント高くなっています。



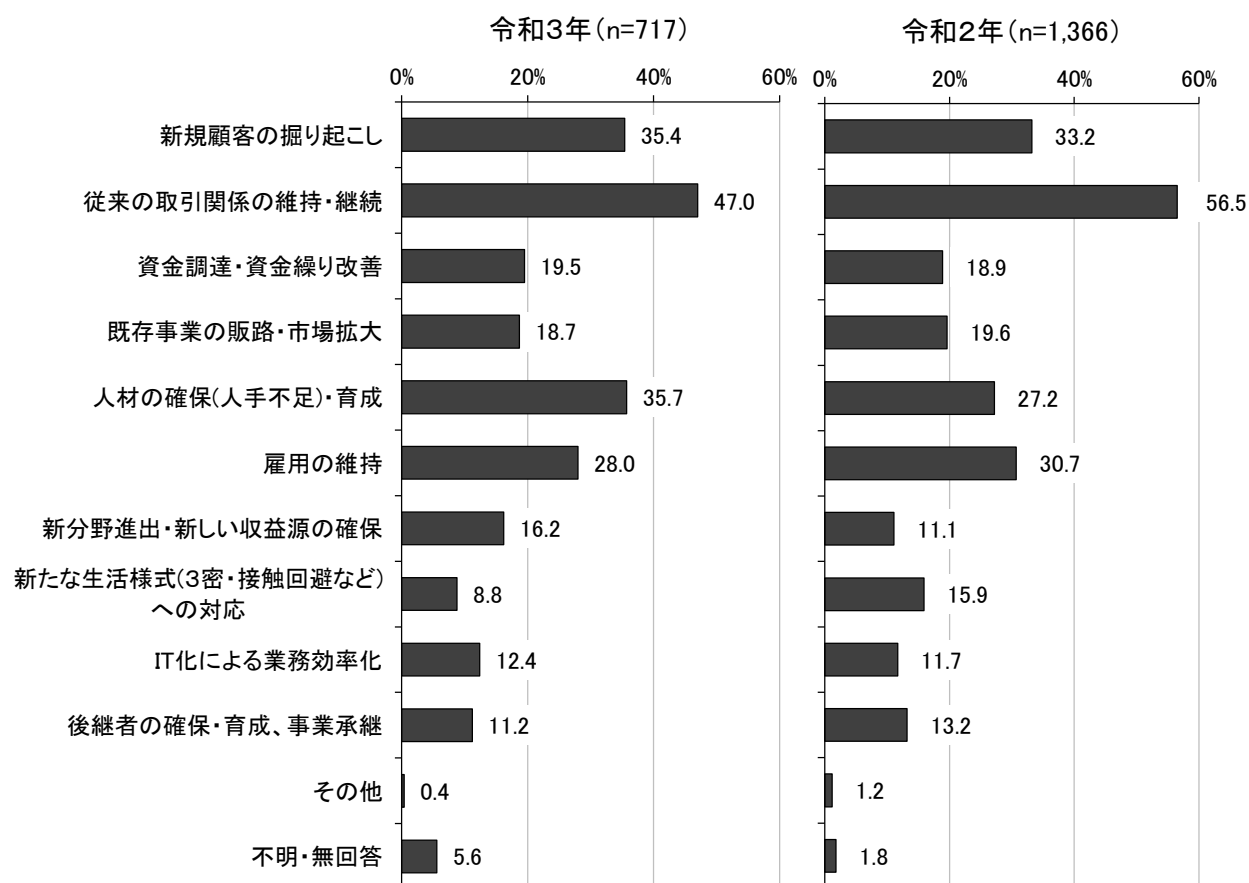
【その他の回答】

記述内容	件数	記述内容	件数
生活困窮者支援	1	持続化給付金の早期支給	1
Go To Eat	1	時短営業協力金の早期支給	1
新しい戦略を練る	1	失政による損失の補償	1
給付金	1	市の業務委託費を増やしてほしい	1
行政には期待しない	1	消費税の減税	1
業績の悪化により融資が受けられない	1	助成金など	1
経済を活性化させる政策	1	税金の低下	1
公共工事を増やしてほしい	1	抜本的な経済対策	1
公共事業の拡大	1	明確な対策方法を発信する	1
公共事業の前倒し発注	1	零細企業向けの無償支援など	1
祭礼などの中止	1	ワクチン	1
事業インフラの整備、事業用地の売り出しなど	1	ワクチンの安定供給	1
感染症対策の見直し(無意味なことや出口を見据えた見直し)	1	特に市の感染対策に対する対応が遅い。祭礼の無観客開催を実現可能とは思っているのか?	1

問 11 新型コロナウイルス感染症をふまえて、貴社が今後重点的に取り組みたい経営課題について教えてください。(〇は最大3つまで)

新型コロナウイルス感染症をふまえて、今後重点的に取り組みたい経営課題についてみると、「従来の取引関係の維持・継続」が47.0%と最も高く、次いで「人材の確保(人手不足)・育成」が35.7%、「新規顧客の掘り起こし」が35.4%となっています。

経年比較をみると、令和2年から「従来の取引関係の維持・継続」が9.5ポイント低く、「人材の確保(人手不足)・育成」が8.5ポイント高くなっています。



【その他の回答】

記述内容	件数
未払金の回収	1

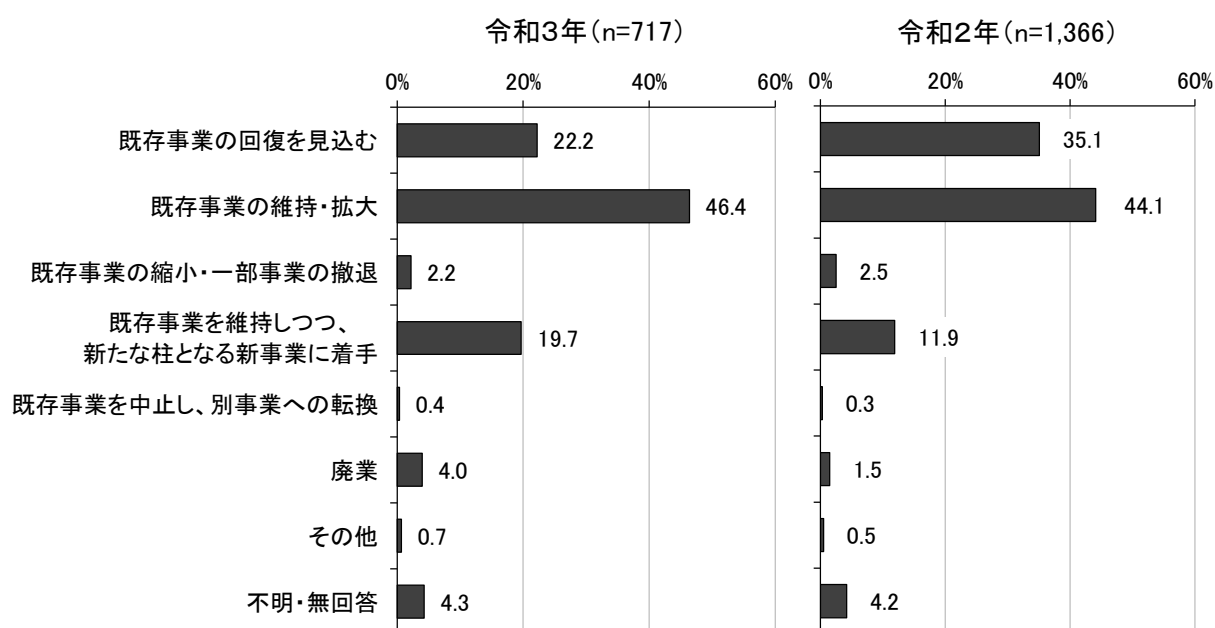
3 既存事業と新規事業について

※本アンケートでいう「今後」は、「概ね10年先まで」を意味することとします。

問12 今後の展望・方向性について教えてください。(〇は1つ)

今後の展望・方向性についてみると、「既存事業の維持・拡大」が46.4%と最も高く、次いで「既存事業の回復を見込む」が22.2%、「既存事業を維持しつつ、新たな柱となる新事業に着手」が19.7%となっています。

経年比較をみると、令和2年から「既存事業の回復を見込む」が12.9ポイント低く、「既存事業を維持しつつ、新たな柱となる新事業に着手」が7.8ポイント高くなっています。



【その他の回答】

記述内容	件数
現有設備を利用してつくるものを変え、ライフスタイルマーケットを注視する	1
国の政策による	1
市場の変化に対処できる組織を継続	1

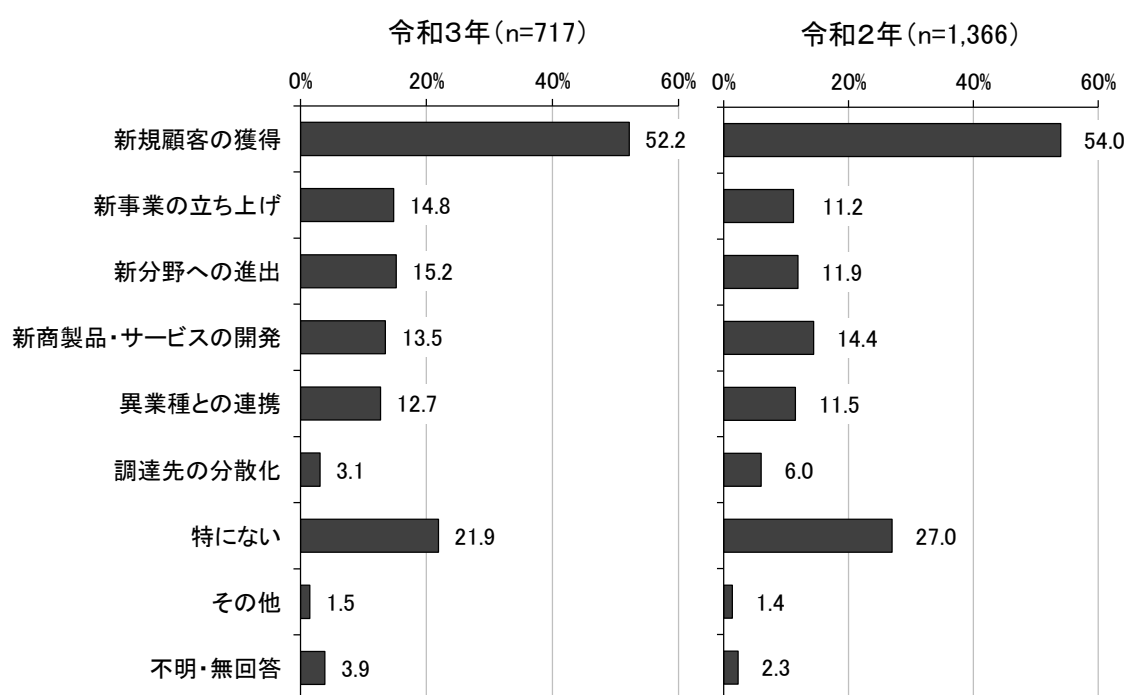
問 13 今後の新規または強化する取り組みを教えてください。(〇はいくつでも)

今後の新規または強化する取り組みについてみると、「新規顧客の獲得」が 52.2%と最も高く、次いで「特にない」が 21.9%、「新分野への進出」が 15.2%となっています。

経年比較をみると、令和2年から「特にない」が 5.1 ポイント低く、「新事業の立ち上げ」が 3.6 ポイント高くなっています。

業種別にみると、いずれの業種も「新規顧客の獲得」が高くなっています。また、卸売業、飲食では「新事業の立ち上げ」「新商製品・サービスの開発」が他の業種と比べ高くなっています。

経営者の年齢別にみると、いずれの年齢も「新規顧客の獲得」が高くなっています。また、年代が下がるにつれて「新事業の立ち上げ」が高くなっています。



【その他の回答】

記述内容	件数	記述内容	件数
人材育成、確保	1	顧客から見た小売りの良質な価値の形成	1
人材確保	1	新規参入による対応	1
Webの見直し	1	生産性向上、納期遅れの解消	1
一次産業のIT化	1	生産性の向上	1
海外進出	1	中国と関係の深い企業との切り離し	1

【業種別・経営者の年齢別比較】

単位：％		新規顧客の獲得	新事業の立ち上げ	新分野への進出	新商製品・サービスの開発	異業種との連携	調達先の分散化	特にない	その他	不明・無回答
全体 (n=717)		52.2	14.8	15.2	13.5	12.7	3.1	21.9	1.5	3.9
業 種 別	農業・林業・水産業 (n=6)	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0
	建設業 (n=157)	49.7	15.9	12.1	3.8	15.3	2.5	25.5	1.3	4.5
	製造業 (n=119)	51.3	16.8	20.2	20.2	16.0	6.7	16.0	2.5	4.2
	卸売業 (n=54)	51.9	24.1	22.2	29.6	9.3	5.6	16.7	0.0	1.9
	小売業 (n=64)	60.9	17.2	17.2	12.5	14.1	1.6	18.8	1.6	3.1
	不動産・物品賃貸業 (n=48)	43.8	8.3	8.3	10.4	8.3	6.3	27.1	2.1	4.2
	飲食 (n=30)	50.0	26.7	26.7	33.3	10.0	0.0	10.0	3.3	6.7
	生活関連・娯楽 (n=3)	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療・福祉 (n=50)	42.0	12.0	10.0	2.0	18.0	0.0	32.0	2.0	4.0
	サービス業 (n=62)	71.0	12.9	8.1	14.5	12.9	3.2	12.9	0.0	3.2
	交通運輸業 (n=31)	64.5	3.2	19.4	3.2	6.5	0.0	22.6	3.2	3.2
	金融・保険 (n=11)	63.6	9.1	27.3	27.3	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0
	その他 (n=51)	45.1	9.8	9.8	9.8	5.9	0.0	35.3	0.0	5.9
経 営 者 の 年 齢 別	40代以下 (n=135)	60.0	23.0	20.7	17.0	16.3	3.0	13.3	0.7	1.5
	50代 (n=193)	56.0	19.2	13.5	11.4	13.0	2.6	17.1	2.6	2.6
	60代 (n=194)	46.4	10.3	13.4	14.9	9.3	5.2	27.8	1.0	4.6
	70代以上 (n=170)	49.4	9.4	14.7	10.0	14.1	1.8	26.5	1.8	6.5

※業種別の宿泊はn数が0の為、記載していません

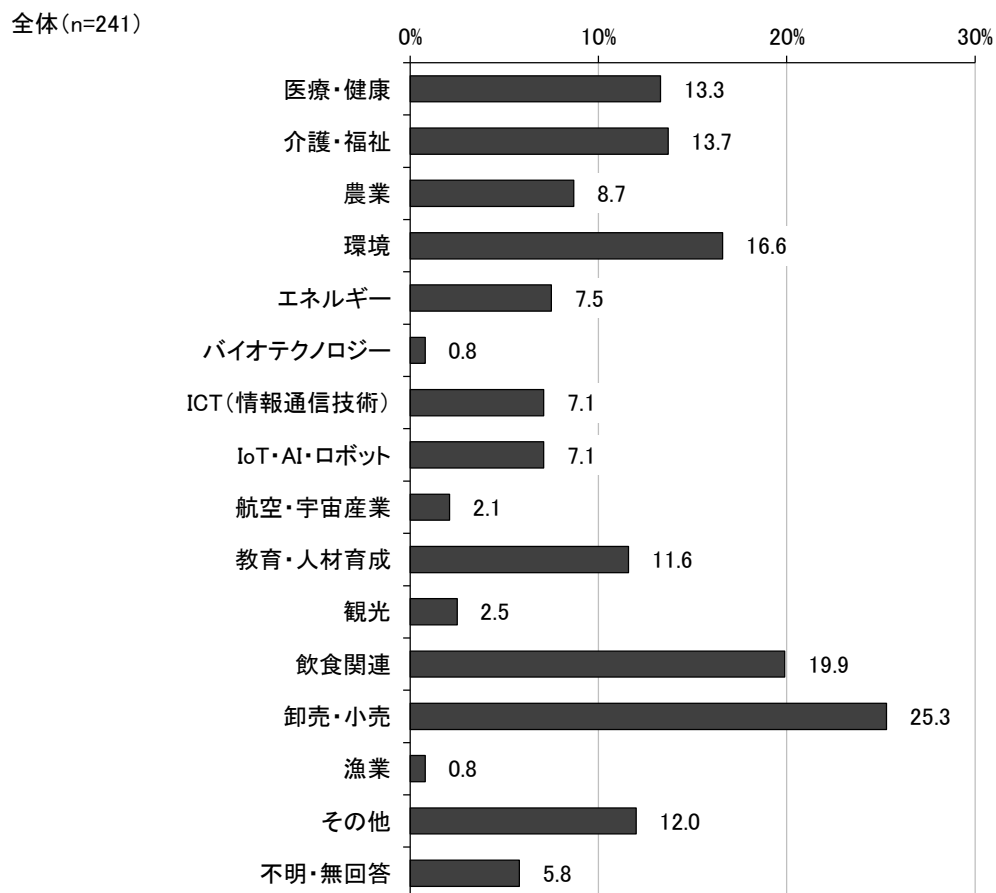
問 13 で「新事業の立ち上げ」「新分野への進出」「新商製品・サービスの開発」と答えた事業者

問 14 今後取り組みたい分野は何ですか。(〇はいくつでも)

今後取り組みたい分野についてみると、「卸売・小売」が 25.3%と最も高く、次いで「飲食関連」が 19.9%、「環境」が 16.6%となっています。

業種別にみると、建設業、製造業、不動産・物品賃貸業、サービス業、その他で「環境」が 2 割台となっています。

経営者の年齢別にみると、40 代以下では「エネルギー」「I o T・A I・ロボット」、70 代以上では「環境」が他の年齢と比べ高くなっています。



【その他の回答】

記述内容	件数	記述内容	件数
不動産	6	建設	3
防災	2	製造	1
人材管理	1	新商品開発	1
エコ	1	サービス	1
収益事業	1	金融	1
ドローンを使った作業	1	金物製作	1

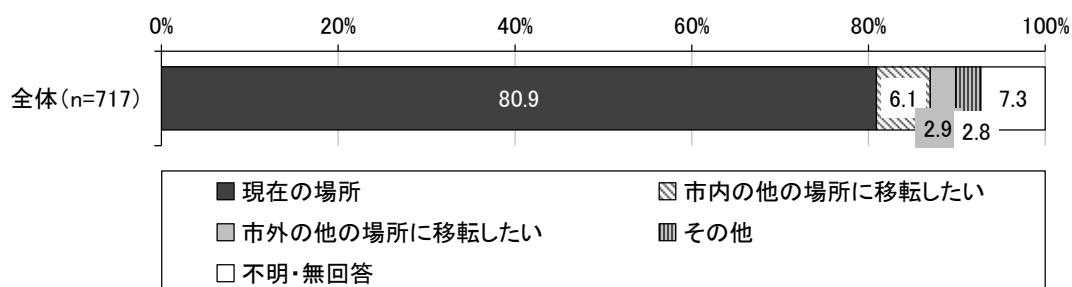
【業種別・経営者の年齢別比較】

単位：%		医療・健康	介護・福祉	農業	環境	エネルギー	バイオテクノロジー	ICT（情報通信技術）	IoT・AI・ロボット	航空・宇宙産業	教育・人材育成	観光	飲食関連	卸売・小売	漁業	その他	不明・無回答
全体 (n=241)		13.3	13.7	8.7	16.6	7.5	0.8	7.1	7.1	2.1	11.6	2.5	19.9	25.3	0.8	12.0	5.8
業種別	農業・林業・水産業 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	建設業 (n=41)	9.8	9.8	9.8	26.8	12.2	0.0	9.8	4.9	0.0	17.1	2.4	17.1	12.2	0.0	22.0	4.9
	製造業 (n=53)	13.2	5.7	9.4	20.8	7.5	1.9	1.9	18.9	5.7	7.5	3.8	1.9	26.4	0.0	9.4	9.4
	卸売業 (n=30)	13.3	16.7	6.7	16.7	6.7	3.3	6.7	10.0	3.3	3.3	3.3	23.3	43.3	3.3	3.3	3.3
	小売業 (n=23)	13.0	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	39.1	52.2	0.0	13.0	4.3
	不動産・物品賃貸業 (n=10)	40.0	30.0	0.0	20.0	10.0	0.0	20.0	0.0	10.0	40.0	0.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0
	飲食 (n=17)	5.9	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	64.7	23.5	0.0	0.0	5.9
	生活関連・娯楽 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	医療・福祉 (n=10)	50.0	70.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サービス業 (n=17)	5.9	17.6	11.8	23.5	11.8	0.0	23.5	0.0	0.0	17.6	0.0	11.8	0.0	0.0	5.9	11.8
	交通運輸業 (n=7)	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3
	金融・保険 (n=6)	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	16.7	33.3	16.7
	その他 (n=12)	8.3	8.3	16.7	25.0	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	33.3	0.0	16.7	25.0	0.0	8.3	0.0
経営者の年齢別	40代以下 (n=59)	13.6	18.6	11.9	13.6	15.3	0.0	8.5	13.6	5.1	10.2	6.8	23.7	25.4	1.7	3.4	6.8
	50代 (n=67)	4.5	10.4	9.0	16.4	7.5	1.5	7.5	7.5	1.5	14.9	0.0	20.9	19.4	0.0	17.9	3.0
	60代 (n=59)	18.6	15.3	8.5	13.6	5.1	0.0	6.8	3.4	1.7	6.8	1.7	18.6	30.5	0.0	8.5	3.4
	70代以上 (n=46)	17.4	10.9	4.3	23.9	2.2	2.2	6.5	4.3	0.0	13.0	2.2	15.2	23.9	0.0	15.2	13.0

※業種別の宿泊はn数が0の為、記載していません

問 15 貴社の今後の事業展開の場所はどこをお考えですか。(〇は1つ)

今後の事業展開の場所についてみると、「現在の場所」が 80.9%と最も高く、次いで「市内の他の場所に移転したい」が 6.1%、「市外の他の場所に移転したい」が 2.9%となっています。



【移転予定の都道府県名・市町村名】

記述内容	件数	記述内容	件数
大阪府大阪市	6	大阪府泉佐野市	1
大阪府泉大津市	1	大阪府和泉市	1
兵庫県	1	兵庫県淡路市	1

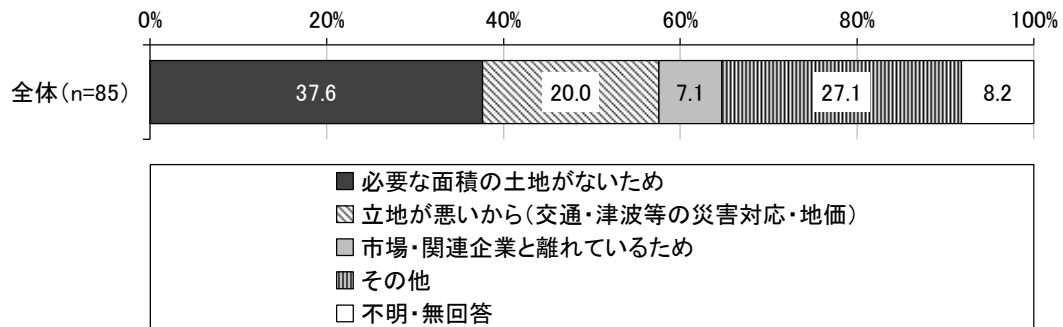
【その他の回答】

記述内容	件数
現在の活動拠点は岸和田市ではない	1
税金のかからないところ	1
現在の場所に加えて他の場所でも行いたい	1
市内及び市外への移転	1
市内、市外にかかわらず条件や立地が良ければ検討したい	1
希望地に希望規模の工場ができれば移転したい	1
展開内容にもよるが場所にはこだわらない	1
市内に別店舗を増やす	1
新規出店	1
大阪府、兵庫県、京都府、和歌山県	1
要検討	1
和歌山県、大阪府	1
北大阪、北摂方面	1
未定だがコスト重視で検討している	1

問 15 で「市内の他の場所に移転したい」「市外の他の場所に移転したい」「その他」と答えた事業者

問 16 移転を検討する理由は何ですか。(○は 1 つ)

移転を検討する理由についてみると、「必要な面積の土地がないため」が 37.6%と最も高く、次いで「立地が悪いから（交通・津波等の災害対応・地価）」が 20.0%、「市場・関連企業と離れているため」が 7.1%となっています。



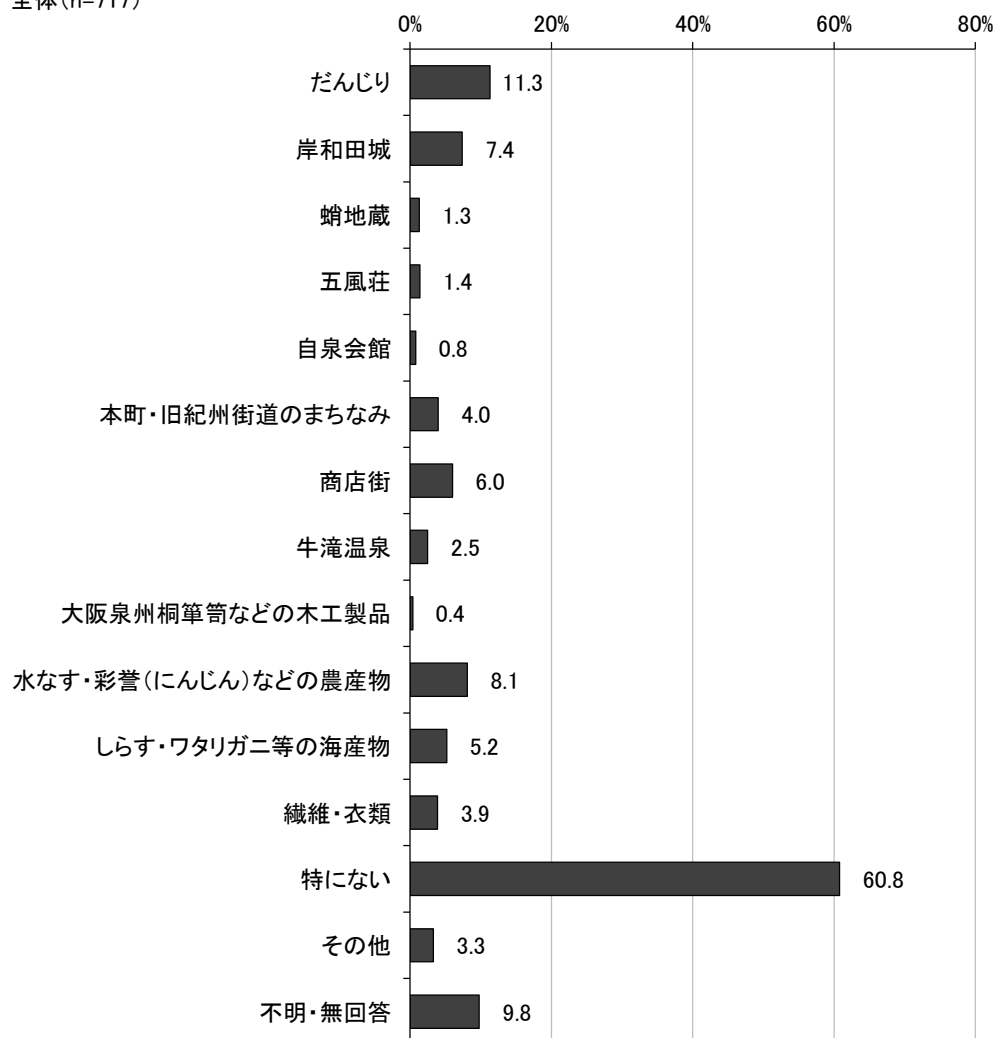
【その他の回答】

記述内容	件数	記述内容	件数
岸和田市の民度	1	魅力がない	1
無駄な税金	1	市場、環境	1
職場が少ない	1	岸和田の「村意識」が嫌いだから	1
大型店舗、大学などの誘致	1	契約関係	1
展開内容にもよるが場所にはこだわらない	1	情報量の問題	1
高家賃のため	1	建物の老朽化など	1
自宅に戻るか所有するビルに移転する	1	物件価格が高い	1
新事業の進捗状況	1		

問 17 貴社が今後の事業展開に活かしたい岸和田市の地域資源は何ですか。（地域資源とのコラボレーション、地域資源を使った商品開発等）（〇はいくつでも）

今後の事業展開に活かしたい岸和田市の地域資源についてみると、「特にない」が 60.8%と最も高く、次いで「だんじり」が 11.3%、「水なす・彩誉（にんじん）などの農産物」が 8.1%となっています。

全体(n=717)



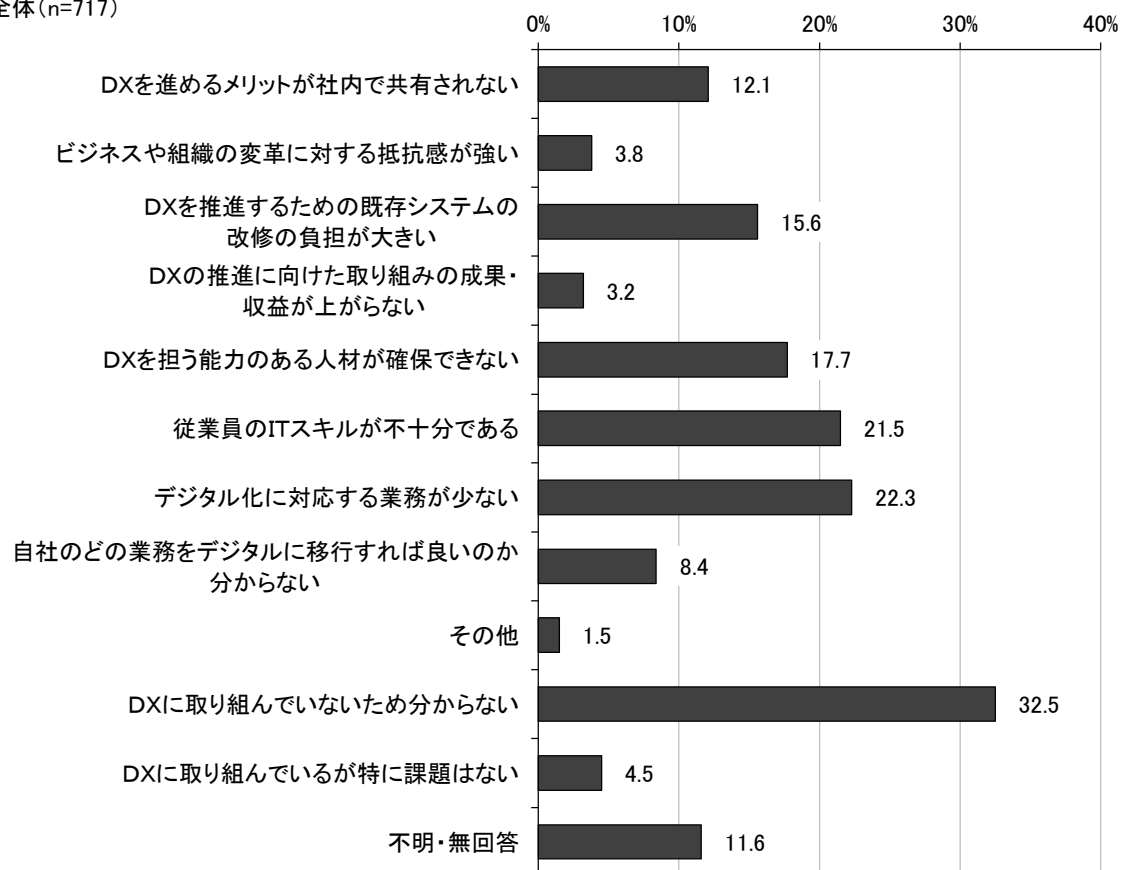
【その他の回答】

記述内容	件数	記述内容	件数
岸和田産木材の活用	1	土地が広い	1
人とのふれあい	1	海浜開発	1
複合施設（スーパーなど）	1	ブナ原生林	1
岸見焼却所	1	キンビズとの経営アドバイス	1
岸和田サービスエリア	1	大阪市内への交通の利便性	1
マリン事業	1	地場特産物	1
防災	1	スポーツ施設	1
市の所有地の売却	1	精神科病院	1
山岳部の開発、造成	1	茶菓子	1

問 18 全国的にD X（デジタルトランスフォーメーション）の動きがみられますが、貴社のD X対応における課題は何ですか。（〇はいくつでも）

D X対応における課題についてみると、「D Xに取り組んでいないため分からない」が 32.5%と最も高く、次いで「デジタル化に対応する業務が少ない」が 22.3%、「従業員の I T スキルが不十分である」が 21.5%となっています。

全体(n=717)



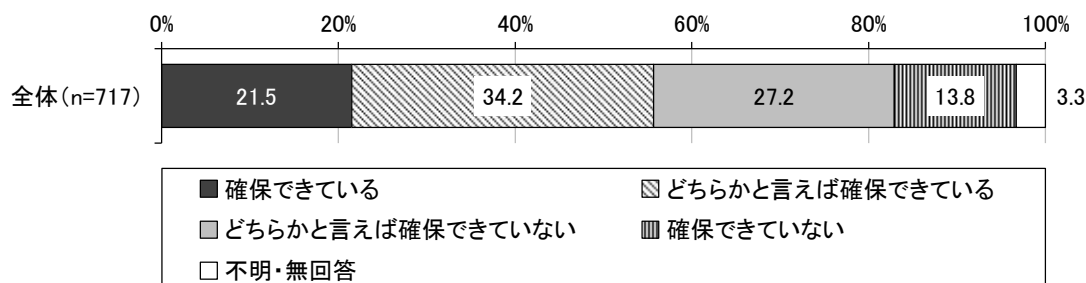
【その他の回答】

記述内容	件数	記述内容	件数
D Xを必要としない	1	本部対応	1
顧客側が準備できていないこと	1	デジタル化応援、規制が多い	1
現状程度のデジタル化で不都合を感じない	1	D Xを扱う余地がない	1
すでにデジタル化できるものはデジタル化しており、D Xの必要は特に感じていない。	1	過去の経験からコストが小売業のような業種には負担が大きい	1
取引先のシステムに依存しているため独自で変更できない	1	自社ではD Xは不適用である	1

4 人材について

問 19 貴社では、必要な人材が確保できていますか。(○は1つ)

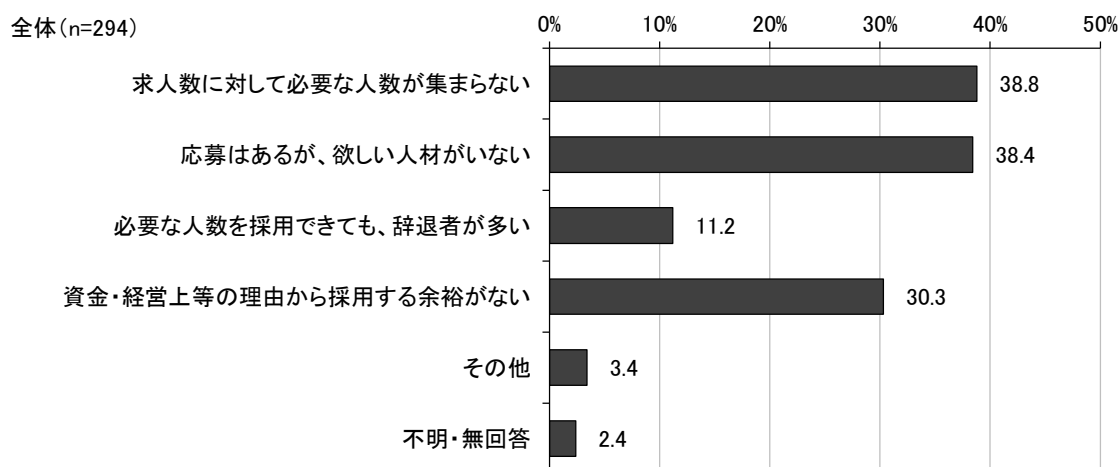
必要な人材が確保できているかについてみると、「どちらかと言えば確保できている」が 34.2%と最も高く、次いで「どちらかと言えば確保できていない」が 27.2%、「確保できている」が 21.5%となっています。



問 19 で「どちらかと言えば確保できていない」又は「確保できていない」と答えた事業者

問 20 必要な人数を確保する場合の課題を教えてください。(○は最大2つまで)

必要な人数を確保する場合の課題についてみると、「求人数に対して必要な人数が集まらない」が 38.8%と最も高く、次いで「応募はあるが、欲しい人材がいない」が 38.4%、「資金・経営上等の理由から採用する余裕がない」が 30.3%となっています。

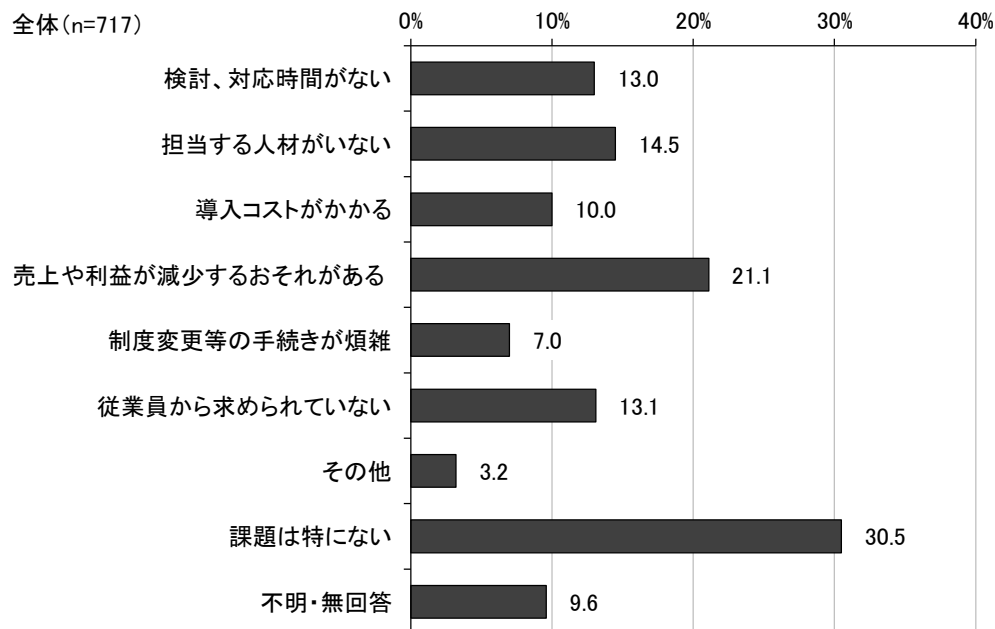


【その他の回答】

記述内容	件数	記述内容	件数
事業の特殊性	1	資格が必要なこと	1
人材の質	1	求人をして来ない	1
環境や仕事内容から雇用してもすぐに退職すること	1	雇用して育成するが本人が望まないなどの問題が多い	1
求人する時間がない	1		

問 21 働き方改革やワーク・ライフ・バランス推進における課題は何ですか。(〇は最大2つまで)

働き方改革やワーク・ライフ・バランス推進における課題についてみると、「課題は特にない」が30.5%と最も高く、次いで「売上や利益が減少するおそれがある」が21.1%、「担当する人材がいない」が14.5%となっています。

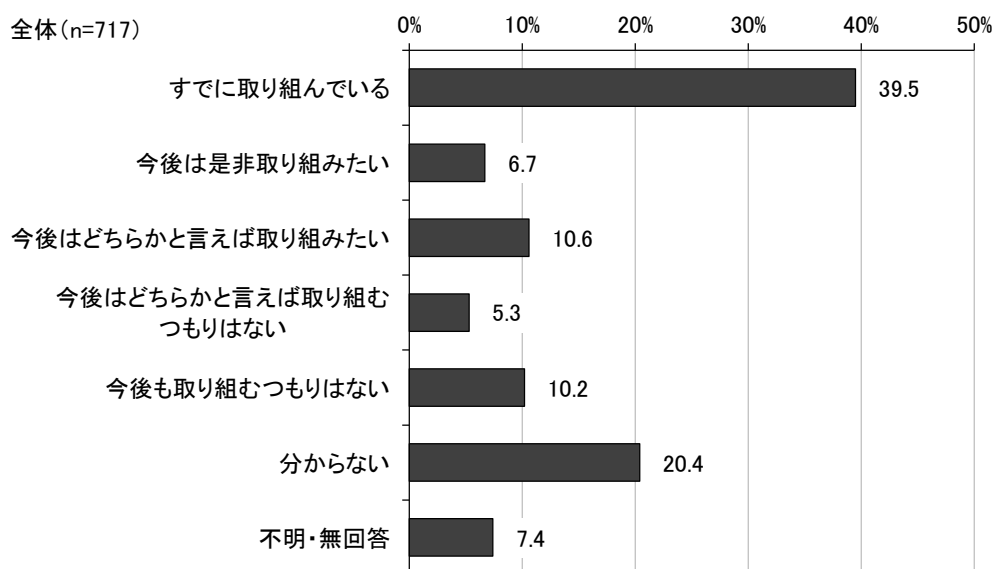


【その他の回答】

記述内容	件数	記述内容	件数
回答が難しい	1	働き方改革の意味がわからない	1
受注がないため仕事がない	1	具体的な方法がわからない	1
元請け業者、荷主の協力が必要不可欠	1	業種的に難しいところがある	1
業界的に職種的に小企業では難しい面が多い	1	特定の人材に仕事量がかたよる	1

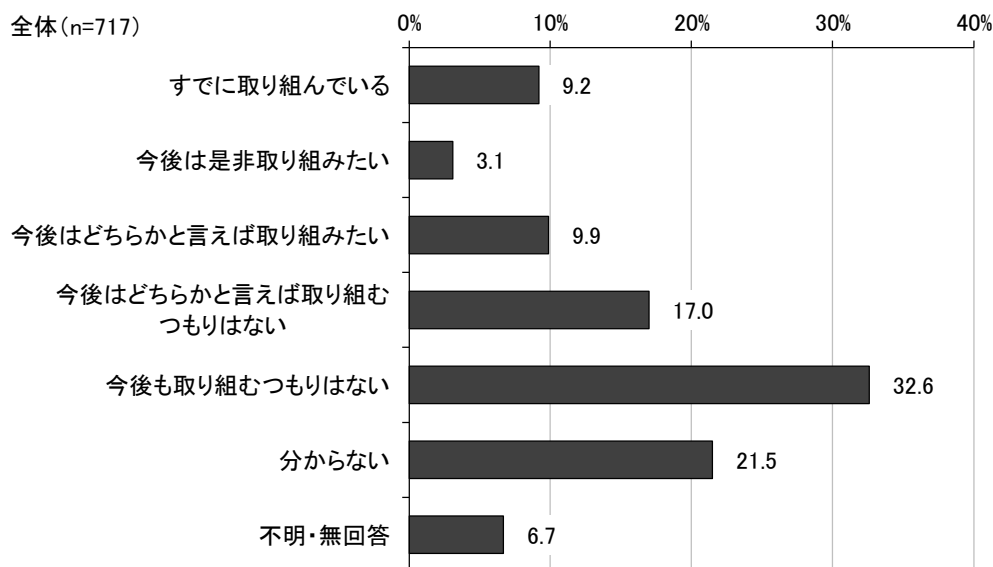
問 22 貴社では、定年退職後の高齢者の再雇用について、どのように考えますか。(〇は1つ)

定年退職後の高齢者の再雇用についてみると、「すでに取り組んでいる」が 39.5%と最も高く、次いで「分からない」が 20.4%、「今後はどちらかと言えば取り組みたい」が 10.6%となっています。



問 23 貴社では、外国人の雇用について、どのように考えますか。(〇は1つ)

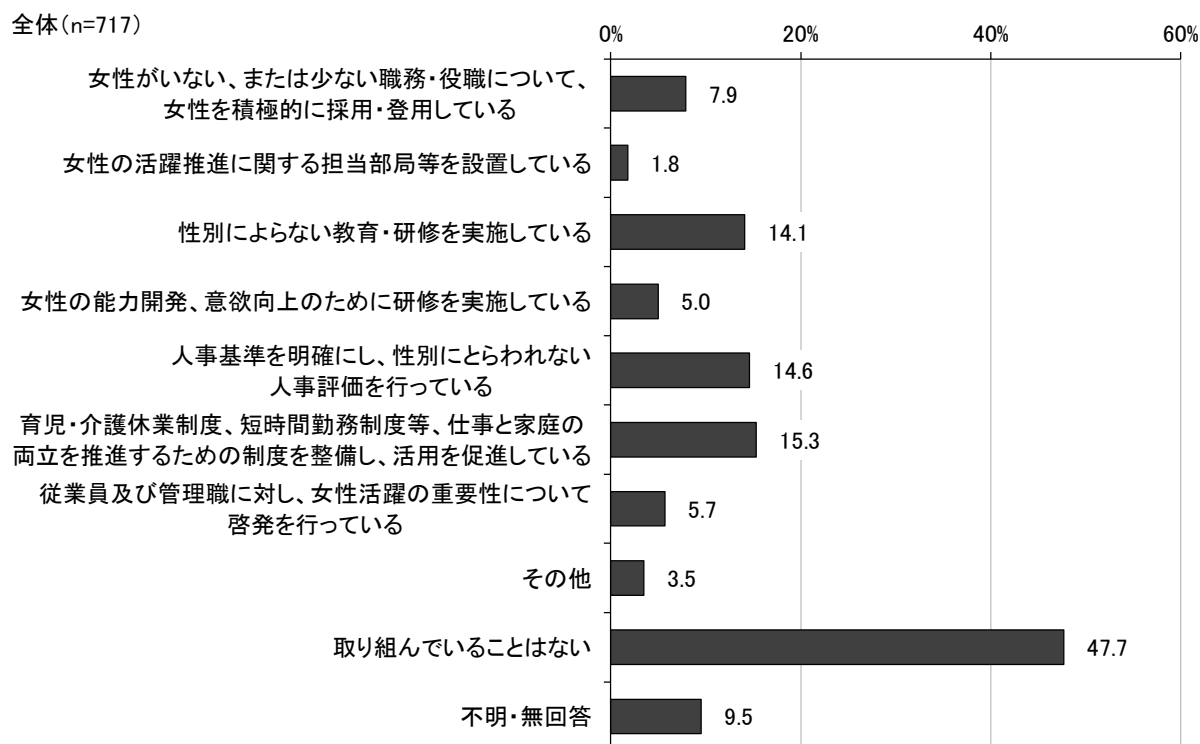
外国人の雇用についてみると、「今後も取り組むつもりはない」が 32.6%と最も高く、次いで「分からない」が 21.5%、「今後はどちらかと言えば取り組むつもりはない」が 17.0%となっています。



問 24 貴社では、女性の活躍を推進するために、どのようなことに取り組んでいますか。

(〇はいくつでも)

女性の活躍を推進するための取り組みについてみると、「取り組んでいることはない」が 47.7%と最も高く、次いで「育児・介護休業制度、短時間勤務制度等、仕事と家庭の両立を推進するための制度を整備し、活用を促進している」が 15.3%、「人事基準を明確にし、性別にとらわれない人事評価を行っている」が 14.6%となっています。

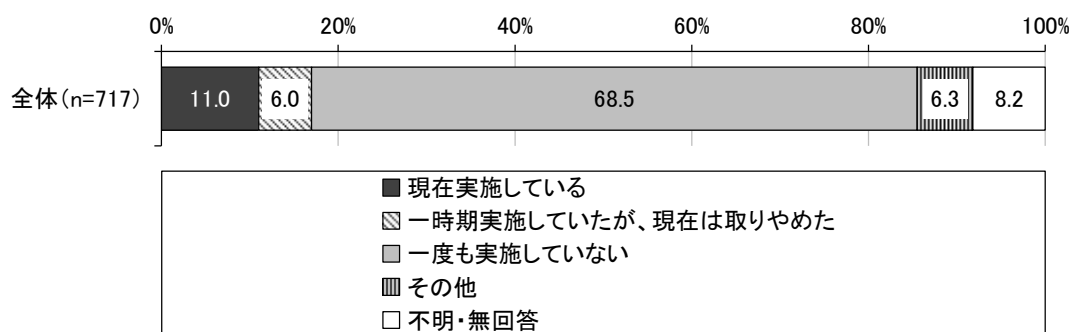


【その他の回答】

記述内容	件数
女性が多い職場である・女性だけの職場である	5
従業員に女性が（ほとんど）いない	4
女性の応募が少ない・ない	2
取り組みをやめた・できていない	2
事務職以外は男性の仕事になる	1
そもそも男女平等なので特に推進とは考えていない。どちらかと言えば女性の方が活躍している。	1
班長や上役に女性を選んでいる	1
新規採用はここ数年女性のみである	1
リモートワークで女性に参加してほしい	1
性別にとらわれない対応をしている	1
男女を特別に分けて考えていない、個人重視	1
重要な役割を果たしている	1
男女平等	1
女性が活躍できる職種である	1
女性は事務職だけで良い	1

問 25 貴社ではテレワークを実施していますか。(○は1つ)

テレワークの実施状況についてみると、「一度も実施していない」が 68.5%と最も高く、次いで「現在実施している」が 11.0%、「一時期実施していたが、現在は取りやめた」が 6.0%となっています。



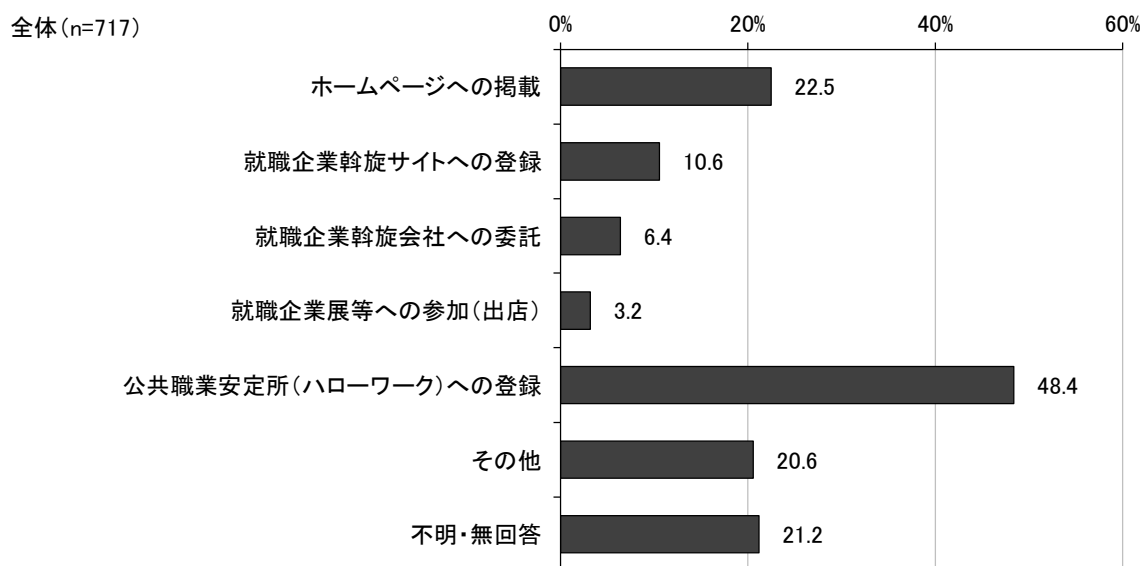
【その他の回答】

記述内容	件数	記述内容	件数
テレワークができる業種ではない	21	テレワークを必要としない	4
会議で導入している	4	一部実施している	4
在宅勤務	2	分散勤務	2

問 26 貴社が行っている採用案内方法について教えてください。(○はいくつでも)

行っている採用案内方法についてみると、「公共職業安定所（ハローワーク）への登録」が 48.4%と最も高く、次いで「ホームページへの掲載」が 22.5%、「就職企業斡旋サイトへの登録」が 10.6%となっています。

業種別にみると、卸売業では「ホームページへの掲載」が他の業種と比べ低く、金融・保険では「就職企業展等への参加（出店）」が他の業種と比べ高くなっています。



【業種別比較】

単位：%		ホームページへの掲載	就職企業幹旋サイトへの登録	就職企業幹旋会社への委託	就職企業展等への参加（出店）	公共職業安定所（ハローワーク）への登録	その他	不明・無回答
全体（n=717）		22.5	10.6	6.4	3.2	48.4	20.6	21.2
業種別	農業・林業・水産業（n=6）	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	33.3
	建設業（n=157）	23.6	7.6	3.8	1.3	54.8	23.6	17.2
	製造業（n=119）	20.2	19.3	9.2	5.0	58.8	17.6	12.6
	卸売業（n=54）	3.7	9.3	11.1	3.7	46.3	18.5	27.8
	小売業（n=64）	26.6	10.9	6.3	3.1	37.5	25.0	31.3
	不動産・物品賃貸業（n=48）	16.7	12.5	4.2	6.3	29.2	31.3	35.4
	飲食（n=30）	16.7	6.7	6.7	0.0	10.0	30.0	43.3
	生活関連・娯楽（n=3）	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	医療・福祉（n=50）	34.0	14.0	12.0	2.0	72.0	12.0	12.0
	サービス業（n=62）	40.3	8.1	4.8	3.2	51.6	14.5	11.3
	交通運輸業（n=31）	22.6	9.7	3.2	3.2	71.0	12.9	6.5
	金融・保険（n=11）	36.4	18.2	0.0	18.2	27.3	45.5	9.1
	その他（n=51）	19.6	7.8	3.9	2.0	41.2	23.5	19.6

※宿泊はn数が0の為、記載していません

【就職企業斡旋サイトへの登録先】

記述内容	件数	記述内容	件数
インディード	15	マイナビ	13
アイデム	7	ビズリーチ	2
リクルート	2	エンゲージ	2
しゅふJOB	1	パーソルキャリア	1
職人スタイル	1	H&カンパニー	1
ディースター	1	DODA	1
dip	1	ジョブコンプラス	1
泉州広告	1	グッピー	1
ミイダス	1	リクオプ	1
求人ボックス	1	キャリアマップ	1
ぱど	1	ジョブメドレー	1

【就職企業斡旋サイトへの登録先】

記述内容	件数	記述内容	件数
アイデム	5	パーソルキャリア	3
リクルート	3	タウンワーク	3
ジンジブ	2	ぱど	2
インディード	1	ファーストナビ	1
バイトル	1	フィットワーク	1
マイナビ	1	池田泉州銀行	1
デジタルワーカー	1	JAC	1

【就職企業展等への参加(出店)回数(昨年度)】

記述内容	件数	記述内容	件数
1回	6	2回	3
3回	2	6回	1

【その他の回答】

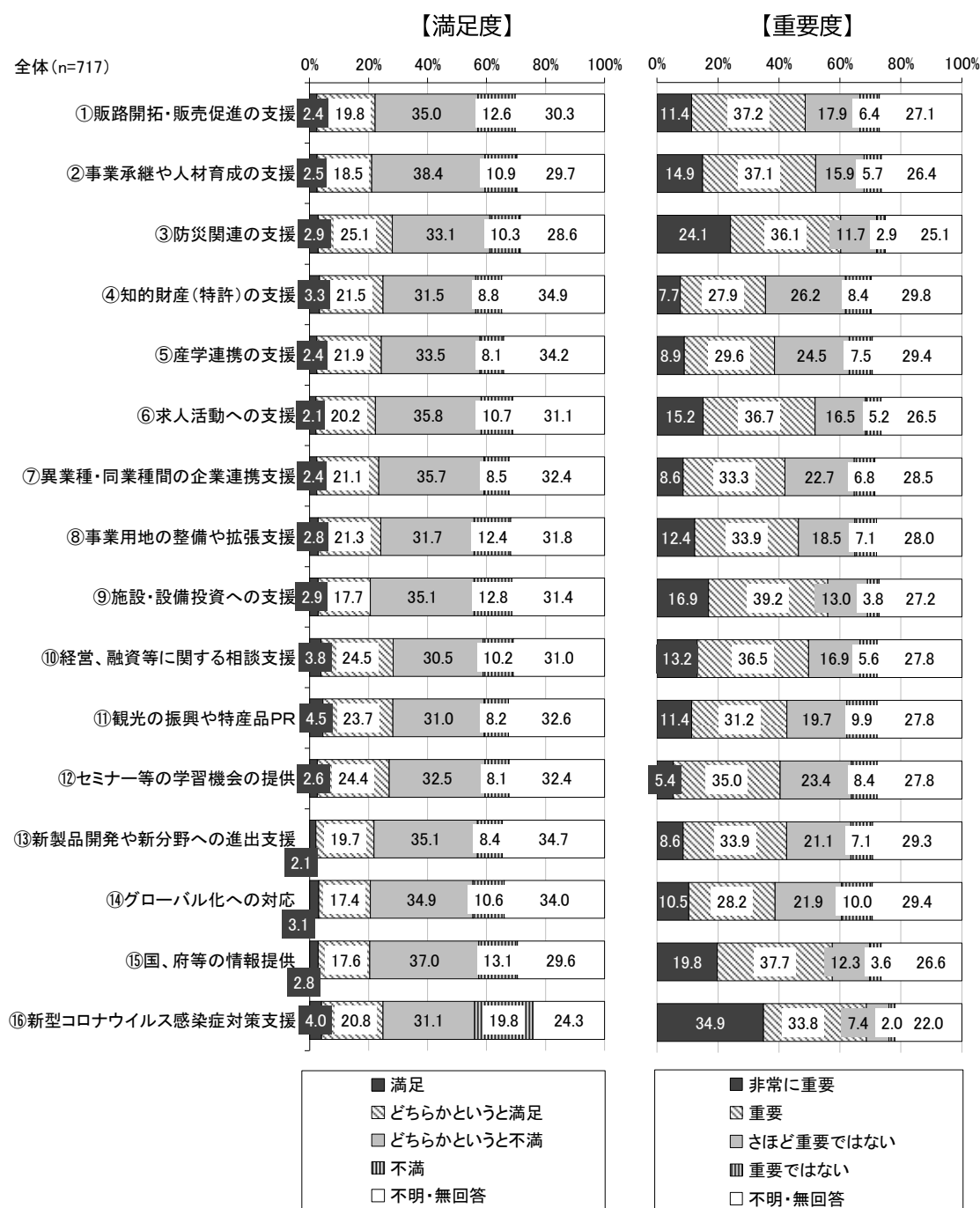
記述内容	件数	記述内容	件数
採用案内などは行っていない	55	知人等からの紹介	22
求人広告等	11	学校を通じて	5
口コミ	3	本社や本部で行っている	3
縁故採用	3	広報	1
採用は希望していない	1	看板の掲示	1

5 市の取り組みについて

問 27 岸和田市における以下のような取り組みの現在の満足度と今後の重要度を、どのように感じますか。(満足度・重要度それぞれに○は1つ)

岸和田市における取り組みの現在の満足度についてみると、③防災関連の支援、⑩経営、融資等に関する相談支援、⑪観光の振興や特産品PR、⑫セミナー等の学習機会の提供では『満足している』(「満足」と「どちらかという満足」の計)が2割台後半となっています。また、②事業承継や人材育成の支援、⑮国、府等の情報提供、⑯新型コロナウイルス感染症対策支援では『不満である』(「どちらかという不満」と「不満」の計)が約5割となっています。

今後の重要度についてみると、③防災関連の支援、⑯新型コロナウイルス感染症対策支援では『重要である』(「非常に重要」と「重要」の計)が6割台となっています。

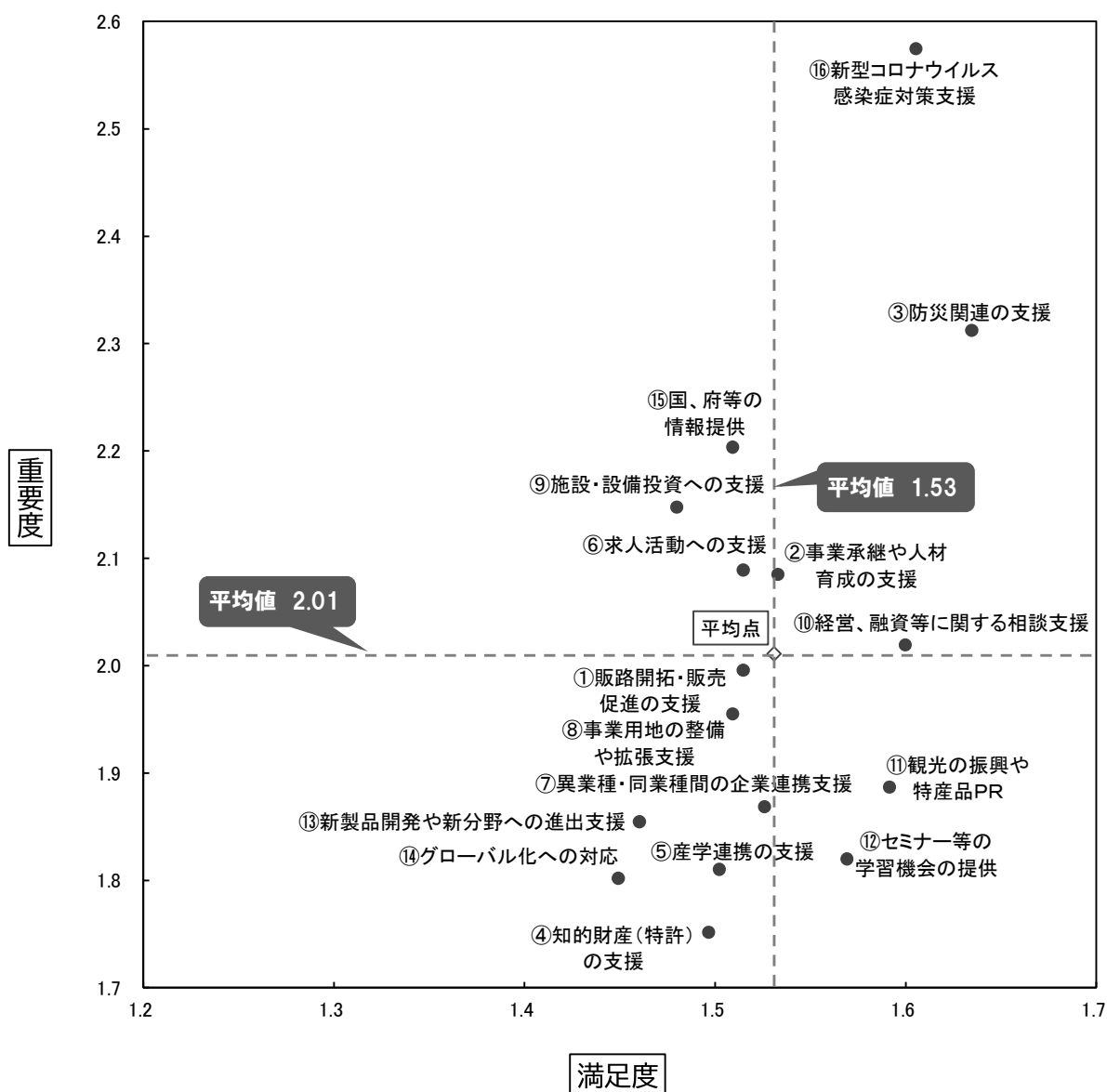


【岸和田市における取り組みの満足度・重要度の散布図】

岸和田市における取り組みの各項目に対して、「満足度」と「重要度」の関係を分析するため回答結果をそれぞれ点数化しました。

満足度についてみると、「③防災関連の支援」が最も高く、次いで「⑩新型コロナウイルス感染症対策支援」、「⑩経営、融資等に関する相談支援」となっています。

重要度についてみると、「⑩新型コロナウイルス感染症対策支援」が最も高く、次いで「③防災関連の支援」、「⑩国、府等の情報提供」となっています。



満足度・重要度の点数算出方法は以下の通り。

満足度 = (「満足」の件数 × 4点 + 「どちらかという満足」の件数 × 3点 + 「どちらかという不満」の件数 × 2点 + 「不満」の件数 × 1点 + 「不明・無回答」の件数 × 0点) ÷ (回答者数)

重要度 = (「非常に重要」の件数 × 4点 + 「重要」の件数 × 3点 + 「さほど重要ではない」の件数 × 2点 + 「重要ではない」の件数 × 1点 + 「不明・無回答」の件数 × 0点) ÷ (回答者数)

6 将来の岸和田市の産業にとって重要なキーワードについて

問 28 最後に、将来（概ね 10 年後）の岸和田市の産業発展にとって重要なキーワードは何だとお考えですか。キーワードを挙げた理由やアイデアと共に、下の枠に記載してください。（自由記述）

【1. 経営の革新、経営基盤に関すること】

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● 新興感染症対策	● 仕事柄、目下新型コロナウイルス感染症対策に忙殺されている。社会活動低下など産業発展に多大な影響を及ぼしかねないから。
● 市のトップが具体的なビジョンを示し常時発信し続けられるか	● 市民の命を財産として命がけで守る覚悟を当然トップが持つ必要がある。たえず市民に夢と希望を与え、そのためのカリスマ性を発揮してほしい。
● スピードと連携	● コロナ対策などで。
● 環境（人）にやさしい企業経営	● 環境（人）にやさしい企業経営は一般的には収益を上げることに非常に厳しくなる。例えばディーゼルエンジンのススを除くためにD P Dの装置を入れるもしくはアドブルーを入れるためメンテナンスコストが高くなり、すべて経営者負担になる。それを顧客に負担してもらうため、運賃を上げると他社に仕事を取られてしまうなど環境にやさしくすれば相反して経営が苦しくなる。苦しくならない方法を市は指導してほしい。
● 泉州	● 人流の範囲が広くなる中、岸和田市という単独の地域のみを目を向けているようでは視野が狭くなると考える。泉州全体を見据えて、泉州エリア全体の活性化の中心として岸和田市が中核となって地域ごと引っぱっていくという自負をもって市には対応してほしい。教育と同じで中長期的な視野での対応を望む。
● ここにしかないモノをいかに知ってもらおうか！	● 飲食店を営んでいるが自分の店にしかないモノ、また他店や他業種でもさらに知ってほしいことが多くあると思う。それをいかに知ってもらおうかが大事だと思う。SNSの時代でもなかなか難しいと感じている。“上手な発信”をいかにするかが課題である。
● S D G s	
● ペーパーレス	
● S D G s	● S D G s に取り組まない企業は事業をする資格がない。
● しっかりと行う	● 今ある仕事、これからしないといけない仕事をしっかりと行う。
● 思いやり、助け合い	● 思いやり「ありがとう」が福祉（幸せ）の第一歩。
● 明るい兆し	● 特には理由はないが、早く元の状況に戻れば良いと思う。
● 清廉潔白	
● 改善	● より豊かになるための改善。

【2. 創業・起業、新事業】

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● だんじり以外の魅力開発と発信	● 農林水産業の商品開発以外に、地域で連携した「生活」「暮らし」に役立つ脱炭素地域エネルギーの創造。
● I T企業の誘致	
● 工業用地の拡大、市街化区域の整備	● 産業の発展は人口の増加につながるが、産業とは商業ではなく工業であると考え。工場には多くの人材が仕事をするために集まり、その人材が消費を行う。定住も考えられる。工業→住宅→商業と発展しないと空洞化が進み、将来的には財政の悪化もまねくと思う。工業用地の整備が最優先の課題であると思う。
● グローバル化	● グローバルな視点でのビジネスチャンスなどの開拓。

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● いつもワクワクする魅力的な国際都市、岸和田市	● コロナ禍終息後の前提として、関西国際空港が近くにあるためインバウンドのニーズに応えられるように、関西国際空港から難波まで中間に位置する岸和田市に行けばワクワクすることが多くあるということを創造する。例えばテーマパーク（アニメとのコラボ）によりホテル、飲食がうるおい周辺事業が活性化すると考える。
● 土地活用	● 海側や山側の空いている土地を有効に使用できるように企業誘致をすすめる。和泉市のテクノステージのように。
● 伝統から革新へ、IT化の促進	
● 情報通信技術教育、ICT教育の産業化	
● 発展	● 和泉市の発展に比べて岸和田の山側の発展が非常に遅れていると感じる。企業誘致や企業が他市に移転するなど岸和田の産業や人寄せに問題があると思う。和泉市が非常な発展をとげており、そのような産業発展を目指してほしい。今の岸和田に期待はできない。
● 企業誘致	● 岸和田の工業団地は防災面でも不安があり、移転する企業が今後も増えると思う。ゆめみヶ丘やちきりアイランドもあるが、さらに大手の製造業の拠点となれるような誘致を積極的に行うべきだと思う。このことによって新たな展開が生み出され、人口減少にも歯止めがかかると思う。具体的には三重県亀山市の「世界の亀山」ブランドのように次は「世界の岸和田」になれるような企業誘致を目指してほしい。
● 林業（間伐、竹林伐採）	● CNF（セルロースナノファイバー）の原料の確保。チップ化。パルプ化。CNF化。製品化。
● 工業地域の拡大	● 海と山がある地域のため防災面からも工業地域が少なく拡大すべきである。企業誘致に成功すればすべてがうるおう。
● 岸和田市競輪場	● スペース利用、観光スポット。
● 企業誘致	● 大学や研究所施設、大型店舗などを誘致して税収入を上げる。
● 人口増加	● 優良企業の誘致。
● 交通を整備し流通を促進させる	● 観光地を公共交通機関で結び、周遊効果を向上させる。他方、ランドマークの候補地を選定し重点的に整備させる。
● 岸和田城周辺、福祉センター	● 市役所機能を野田町に移転することで双方が活性化される。
● コロナ後の人の呼び込み	● 岸和田駅と東岸和田駅をつなぐような開発。
● 産業物流の拠点	● 現在、岸の丘町に産業団地を展開中だが、それよりも大規模なものを造成し同時に物流拠点を併設することによって、より活性化されるのではないかと考えた。
● 市街化調整区域の除外	● 市街化調整区域のため産業が発展せず、産業廃棄物処理業者などに土地を貸すため景観や産業がまったく発展しない。美しい山並みも積み上げられたゴミでまち並みが崩れ残念である。市街化調整区域が外れ企業を誘致できれば産業も発展すると思う。
● 調整区域	● 今後、事業を拡大するにあたり岸和田で考えているが、土地が市街化調整区域が多すぎるため、すべてにおいて障害になっている。現状だと拡大できない。
● 物流の導線（輸送業界の車庫や物流倉庫）	● 岸和田市は高速道路など立地条件が良いと人気があるため港湾地区に土地がない。今後、物流拠点などできれば市内まで30分、西日本から東海地区まで動きやすい環境のため活性すると思う。（現、東大阪市のトラックターミナル）
● 企業誘致	

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● 市街化調整区域をなくし、さらなる開発を行い企業を誘致してまちを活性化してほしい！	● 新型コロナウイルス拡大の危険な状況時に祭礼などを中止にしないのは疑問である。企業は社員の安全を守っているが、事業を安心して行えない。感染拡大の影響で他市への配達や営業にも支障がでている。祭礼だけの岸和田ではない。
● 大手企業の誘致（倉庫などは除く）	● 市民の平均所得の向上。
● 岸和田市駅周辺の活性化と貯木場の再利用	● 大阪市内と関西国際空港の中間都市としての地域開発。
● 連携 隣接市町村との連携や一体化、PRや行動	● 1人勝ちではなく産業を拡大した方が良い。
	● 優良企業の誘致！自己で存続できない企業への融資は税金の無駄。
● 企業誘致	
● 立地を最大限に活用する	● 岸和田市は関西国際空港と難波の真ん中に位置しており、インバウンドとして立地的にも素晴らしいにもかかわらず、商店街や駅周辺の活気が少ないように感じる。アフターコロナを見据えて外国人観光客に特化した国際的なまちづくりができれば、岸和田市はさらに盛り上がるのではないかと考える。また山側方面が工業や農業など活用できていない土地が非常に多い。岸和田は非常に良い立地（観光もでき農業や工業にとっても有利）であるにもかかわらず活かしきれていない。人材育成や有効的な土地活用も含めて今後に期待している。
● 企業団地の開発	● 岸和田に移住できるような企業を誘致する政策を考えてほしい。
● IT化、サプライチェーン化	● 全体的に製造業の会社が減少している。
● 未来に向けた投資	● 10年後、20年後の市の未来図がない！ ● 旧市の再開発→観光客視点の着想がまったくない。 ● すべての商店街の衰退に歯止めがない。 ● 泉北鉄道の進展、推進またそれによる住宅地の開発。すべてにおいて和泉市に負けている！
● インバウンド、大学、ホテル	● 人集、人流、観光、IR
● 自然、アウトドア、生きもの	
● 企業誘致と住民支援	● 企業誘致し税収を上げる。 ● 住宅支援で人口を増やし消費拡大する。
● 市街化調整区域が多いため再建築や増築ができない	● 工場を拡大したいが調整区域のため増築できない。新製品の製造ができない。最新機械が置けず時代に遅れる。
● 外国人の取り入れ	● インバウンドで入国する外国人をさらに増やすべき。そのためさらに大きな宿泊地（宿）を建設すべき。
● 木材コンビナートの貯木場の早期利用	● 埋め立て済みの大きな土地を利用していないのは問題だと思う。
● 関西国際空港の活用	● 関西国際空港の利用者や労働者を含め近隣都市としての人流の取り込み。
● 基幹となる産業の育成	● あまり場所と資本のかからない研究開発などの育成。 ● 外国資本との共同開発など。
● 大企業への誘致	
● 臨海道路に道の駅、観光客の誘致を積極的に進めること	
● 低炭素社会に向けた地域循環エネルギー網の構築	● 太陽光発電や地域などから発生する間伐材、分別困難な廃プラスチックなどを用いたバイオマス発電や廃棄物発電を行う企業を誘致、行政はその立地条件を整備する。それらの企業から発生した電気を地域の電力として供給するなど、岸和田市が主導し地域全体の低炭素化を推進する。

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● 駅前の開発	● 駅に買い物で行きたいと思えるような開発が必要。市内に大型ショッピングセンターを。
● IT化と情報提供	
● 税金	● 企業誘致による雇用の安定。交通の利便性の拡充。
● 大阪市内などへの交通の利便性	● 和泉市の和泉中央駅から岸和田市内への鉄道の延伸や新駅の設置、駅周辺の開発。
● 未活用地の有効利用	
● 新分野、新規開拓時の支援	● 大阪府下産業政策課連携による各市客先へのPR機会の創出（市内産業の紹介）
● スポーツ推進	● スポーツ環境を通じて人工芝メーカーとして整備を行いながら、弊社のグループ企業である大塚製菓の飲料で熱中症対策やスポーツ活動の促進に向けた取り組みで支援が可能である。
● 外国	● 今は新型コロナウイルス感染症で観光客が減っているが、だんじりなどがあるため、以前のように観光客が増え始めれば外国人に向けたおもてなしが必要になってくると思う。
● 南海岸和田駅前の活性化	● 駅を降りてからのアーケードの中が寂しい。地元の商店などが建ち並べば良いと思う。
● 新鋼製束キシマン	● 第1回目は特許を平成27年に取得したが、その商品よりもう少し開発し今年6月に2回目の特許申請をした。今後、商品が売れていくよう願っている。前回の商品は制作し販売しているが、新商品はまだ販売していない。今後、この商品（新開発鋼製束）を販売したいと思っている。
● 久米田池周辺、岸和田城周辺の観光事業	● 景観を利用した店舗、事業の誘致。
● 海から山につながる中央線の完成	
● 特産品の開発	
● スポーツで集客（全日本の大会ができる施設、全天候型グラウンド、宿泊施設をつくる）	● 祭りだけしかない。全日本ソフトボール大会を春、秋開催。
● 山手地区の開発、発展	● 泉北鉄道を岸和田まで延長し、併せて国道1号線も延長する。20万人以上いた市民が減り続けている。なにか手を打たなければならない。このまま市民がいなくなるのが怖い。
● 「アイデア」	● 近隣の市町村に比べて何らかの特徴を打ち出せず、完全に遅れをとっている感じがする。さらにアイデアを出して新たな発信をしていくべきである。人の流出は止まらなくなる。

【3. 地域産業・地域経済政策】

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● 積極的企業誘致を行う	● 本市においては近隣の市町村よりすべてにおいて遅れをとっている。和泉市のように大型商業施設の誘致を考えるべきである。中途半端ではだめである。他の市長のように積極的に取り組むべきである。人口の減少をどう止めるかにかかっている。

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● 市街化区域の拡大	● 農業人口が減っているのに農地を保護しすぎである。農業をしたいと思う人には農地を手に入れやすいように制限を緩和するのが良いと思う。市街化区域を外環（国道 170 号線）まで拡大すべきである。家を建てたい、地元に残りたいと思う若者が家を建てられないという理由で移住してしまうため、山手地区の人口減少に歯止めがかからない。農地も含めてすべてを市街化区域にできないのであれば、既存の建ち並びがあるところだけでも市街化区域にすべきだと思う。
● だんじりに頼りすぎないまちづくり	● だんじりは確かに重要な観光資源だが、これは諸刃の剣。他地区からの人口流入が泉州の他市と比較して少ないからである。だんじりに頼りすぎず、他地域からの人も住みやすいまちづくりで人口を増やすことで、市内の産業も活性化する。柄が悪いといわれる地域性も「これが岸和田だから」と放置せず治安の良いまちをつくるべきである。
● 関西国際空港	● 関西国際空港を窓口とし、日本全国あるいは世界を市場とした岸和田ブランドの販売促進。
● 岸和田だんじりの保存	● 岸和田市として市民が祭りを続けられるように市がバックアップをしてほしい。産業発展には欠かせないと思う。ふるさと納税にだんじりの保存に関連するものがあれば良いと思う。
● 岸和田の特産品	● 例えば包近の桃、漁業のいかなご、だんぢり屋製菓の村雨など。
● 脱「だんじりのまち」	● 岸和田と言えばまつりであるが、外から見ると異常な部分も多い。だんじりに変わる特色を持たないといけないと思う。
● 脱だんじり	● 口を開けばだんじり、祭。それ以外の文化的な柱を構築することが岸和田が再度、泉州の中でも発展するカギだと思う。
● 地場産業の新しい構築	● 地域だけでは？
● チェンジ	● オリンピックも無観客が決定。岸和田はだんじり発想から出られない。岸和田の企業として岸和田で良いのかと思わされる。
● 万博後の I R 事業に絡んだ観光事業の強化	● 関西国際空港に近い立地条件と咲洲への移動途中にあるため、岸和田城やだんじりの歴史に外国からの観光客に興味を持ってもらう。
● 商店街の再生	● 商店街（駅の浜側）がさびれて人が集まらない。特徴のある品物やお店で人を集めないといけないと思う。「だんじり」の 3 日間だけではダメ！
● だんじりの有無	● だんじりに頼ることなく、だんじり中心の岸和田でなく、だんじりに参加していない人もいる。考え方を外に向けて税収や人口を増やしてほしい。
● イメージアップ	● 岸和田市のイメージは全国的にも大阪府内でもかなり低いと思う。地元住民、特にだんじり参加者には住みたいまちだが、それ以外の人には評価が低い。 ①だんじりにこだわり過ぎである。 ②おしゃれな雰囲気が出ない。 ③新しいまちづくりができない。 ④和泉市和泉中央のようなまち並みがない。まちが汚い。 ⑤大きな商業施設がない。すべてをクリアできなければ、やはりだんじりに頼るしかないと思う。
● 食べ歩き、散策	● 岸和田商店街（岸和田駅）から岸和田城への食べ歩きや買い物ができるようになれば良いと思う。例で言うと嵐山（京都）で食べ歩きやおみやげを買い求めるように、岸和田でも平日、土日にかかわらず観光客が散策できるようにする。愛知県犬山市の犬山城でも同じように食べ歩きができています。
● 活気	● 岸和田ならではの活気のある雰囲気、人柄を会社や市でも取り入れて成長して欲しい。コロナの暗い感じを活気で乗り切りたい。

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● 文化、ふるさと納税	
● だんじりに頼らない魅力づくり	● 岸和田と言えばだんじりしか思い浮かばないようでは、産業が活性化しない。大阪市中心部へのアクセスの良さをいかして、まずは人口を増やす。子育て世代が増えないと過疎化の心配がある。岸和田以外の人にとって、だんじりは観るものであってやるものではない。住みたい市にするにはだんじり以外の目玉がいる。
● 伝承行事の活性化	● 人口が減少し、多種多様な生活様式が定着してきているため。
● だんじり・・・だけじゃない！	● だんじりは歴史ある伝統文化で重要なことは確かだが、産業発展にどれだけ寄与しているのかわからない。岸和田市のイメージとはやはり“だんじり”しか出てこない。他市から見ると“よそ者”を受け付けず、だんじりの組織のイメージはこわい。公私ともに生活がだんじりを中心という感じが他市から敬遠されているように思う。岸和田市には他にもアピールすることがあるはずである。それを探し出すことが 10 年後の産業発展に対する要であると思う。ひとつの方法としてオープンファクトリーイベントを開催し、地元企業をさらに知ってもらい、このような企業に就職したい、このようなまちに住んでみたいと思わせるような“岸和田市イノベーションまちづくり”を展開しても良いと思う。
● 脱だんじり	● 自分自身もだんじりに参加しているが、国際化や経済の発展にはほとんど寄与していない。岸和田城という他市町村にはない特別なものをさらにいかすべきである。例えば市役所は建て替えるのではなく、福祉センターに移動させるべきである。仮庁舎を建てる費用が不要である。跡地は民間企業もしくは第三セクターに長期レンタルでホテルや商業、イベント施設を建設させる。本町の旧街道のまちなみと併せて京都の太秦映画村のようにし、建物上部を賃貸マンションなどにすれば人口増加が見込める。なお現在の市役所へは交通の利便性が悪い。山手や春木地区の人たちは結構な距離を歩かなければならない。福祉センターがある場所は好立地であり、駅の利用者が多く経済の活性化が見込める。建物も現行か少しの改修で良いと思う。
● 産官民祭連携	
● 脱だんじり or だんじりのイメージ改革	● だんじりは岸和田市の中でも古くからある大切な文化で継承していくことはとても大切だと思う。しかし世間（市外の人たち）の認知度は高い祭りではあるが、良い意味でも悪い意味でも目立っている。“ケガの多い”、“命をかけている”、“乱暴”などのイメージを持たれていることが多い。だんじり関係のつきあいや出費が多く、新しい会社の設立や市外からの移住者にとってためらいが生じると思う。だんじりの文化をこれからも継承して市を発展させていくには市ぐるみで世間のだんじりのイメージを良くしていくことが大切だと思う。だんじりが好きなだけでだんじりをやるという考えでは、いずれ市もすたれていくと思う。時代に適応、順応していったこそより良い市になると思う。
● 脱だんじり	● 「だんじり」以外にも岸和田を売り込む必要があると思う。
● だんじり	● 岸和田と言えばだんじり。関西国際空港から大阪市内や京都へと観光客が移動する中、岸和田で途中下車してもらうには、それなりのイベント性のあるもので目を引く必要があると思う。全国ではまだ取り組んでいるところは少ないと思うが、参加型のだんじりを体験してもらえるような岸和田の魅力の発信方法を考えるのも面白いと思う。
● 岸和田独自のローカリズムの構築	● 文化、伝統、歴史にちなんだ創造性のある活動をつくる。

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● スピード	● 岸和田市は他市に比べて何をやるにも遅れている。市民の声を放置し、だんじりに頼りすぎである。市民の意見やアイデアを聞き、スピードを持って行動してほしい。
● だんじり	● 観光資源が重要である。
● だんじり以外の何か収益を得ることができる場所や物をつくりだす	● 岸和田と言えばだんじりのイメージしかなく、だんじり以外のスポットや有名な物を開発して、1年中収益をあげるものをつくりださなければならない。
● 岸和田城	● 天守閣があるのは日本でも数少なく、さらに斬新なアイデアで集客すべきと思う。例えば天守閣の最上部をホテルにするなど。
● 城、だんじり	● 城があるにもかかわらず、他の城がある地域と比較して城までの商店街や土産屋の雰囲気が悪い。商店の数の少なさや観光客も少なすぎる。商店街の雰囲気を良くし、若い世代でも商売がしやすいように家賃支援などを考えて活気づけてほしい。市は大きな企業しか連携しない。岸和田市民や個人事業主を応援してほしい。
● 岸和田ブランドの創造	● 岸和田市が目指す産業育成やブランド創造が見えにくい。産業の集積地としてどの分野をのばしていくのかを決め、特に得意な分野をつくるべきだと思う。
● 観光	● だんじり以外に人を集めるようなことを考える。岸和田城周辺の整備。市役所建て替えに伴う再開発。観光バスが停められる駐車場の整備。
● 今の岸和田に明確な目標がないため、どんなまちをつくるのか市民は知りたい！	● 山手路線にしても貝塚市、泉佐野市から後方から問題化されている点。 ● 岸和田市はだんじりを主にした考え方が多いため、新しい事業発展にブレーキがかかっているように思う。だんじりの方向性も自分たちの祭りにしか見えない。さらに岸和田市全体のための祭りにしなければ岸和田の発展が止まってしまうことになる。
● だんじり、ふるさと納税	● ITが進歩する中、時代遅れのアナログ人間に10年先を予想するのは困難だと思うが、岸和田には唯一全国的に知名度を誇るだんじりがある。今は市民だけが楽しんでいるように思うが、プロジェクトを立ち上げ祭りに特化した事業を強化すれば良いと思う。例えばふるさと納税の返礼品として ①文化的、歴史的に価値のある資料を作成し提供する（ビデオ、ガイドブック、パンフレット、グッズなど） ②だんじりに優待する（特別観覧席の設置）など岸和田独自のものを検討しても良いと思う。また感染症による人流抑制などの場合にはスマートフォンを活用した事業も考える。
● ものづくり、特殊技術	● 特殊な技術を持っている地元企業を市民へアピールすることで、地元企業への就職活動が活性化される。地元企業は他の市町村の市場で収益を上げて、地元へ税収を落とすくらいを考えが必要である。岸和田＝だんじりではない。次に連想されるワードが必要不可欠。
● 城下町をいかす	● 岸和田イコールだんじり・・・だけではなく城下町などをいかした事業。
● 産業が育つまち	● 岸和田は昔、紡績で栄えたまちである。時代の流れとともに変化し、各種多様な産業が存在している。それは人々のニーズが多様化し、IT化が進んでいることも要因になっていると思う。しかし岸和田市内の産業で昔から続いているものを守りながら、新しい産業が育っているかという少し疑問に思う。ひょっとすると新しい産業が育つのが乏しい理由があるかもしれない。もう一度見直し、どうすれば産業や商業に強いまちへとなるのかを考えなければならないと思う。
● 観光	● 城や紀州街道の魅力ある整備。 ● 阪南2区に総合施設をつくる。

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● 事業再生と構築を含めたまちづくり	● ゆめみが丘のような企業団地の第2弾第3弾の事業計画。東北地震の後、BCPの観点から沿岸部と丘陵地区との二段構えを考えている会社が多い。準工業地域で長年営業してまわりに家が建ち、騒音問題などに困り移転を考えているが場所がないとよく聞く。小さい区画の部分も増やし、中小企業が入りやすくすれば応募が確実に増えると思う。やはり産業と人とお金は力だと思う。税制が豊かになれば市民の福利厚生にも返ってくると思う。 ● 職業能力開発大学校よりももう少し簡単な中卒、高卒の子たちが通える職業訓練校ができれば良いと思う。今、普通に卒業して就職しない人数と毎年、就労するために来る外国人の数がだいたい同じだと学校関係者から聞いた。ブルーカラーの仕事が嫌でも学歴がなくそういった職場でしか働けない子どもたちが大勢いると聞くため、何か踏み出せる一歩の手助けができれば良いと思う。
● 地産地消、脱炭素、環境修復、災害対策	● 未来の市民のため。
● 観光の特化	● 牛滝温泉いよやかの郷の営業終了により岸和田名物が一つ減った。非常に残念に思う。
● だんじりの存続	● だんじりに対して個人的には興味もなく、どちらかと言えば好きではないが、岸和田＝だんじりと全国的に有名なため伝統的な祭事として継承すべきだと思う。しかし、今年のコロナ禍で祭りを決行するのは疑問に思う。自重すべきである。時代と逆行している。将来的にはコロナが落ち着き、ワクチンが行き届いた場合に再開すべきである。インバウンドで外国人観光客が来日できるようになれば、だんじりの参加者として誘致すれば華やぎ、観光客も増え活性化につながると思う。伝統を守ることも大事であるが、時代に沿うことも大事である。
● ユニーク商品の発掘と発展	● 毎年、アンケートでユニーク商品を募集し、審査に10商品をピックアップして販路拡大や販売促進の支援をする。多様でユニークな商品が拡大することによって、岸和田市の産業の発展につながる。特定業種による発展は時代にそぐわない。
● ふるさと納税返礼品	● ふるさと納税返礼品に発泡スチロールの箱を使用し、だんじりや城の形をした箱を使用することでインパクトを与える。調整区域のため、近場に倉庫などが建てられないため、一部でも解除して市の税収につなげてほしい。（現在、返礼品を出しているがキャパオーバーとなる）
● 観光	● 南大阪内できれいな城を持ち、世界が知る祭りがあり、交通の利便性も良いのにアピールなどがいかされていない。年長者が動かなくて色々進まないのであれば、彼らの知らない仮想空間（SNS、VR）から変えてゆき、客の閲覧や検索から接続可能商品・名所を整えてゆくと、観光で人が訪れ産業も広がると思う。彫刻もすばらしいため本当にもったいない。
● 岸和田≠だんじり	● だんじりといえば岸和田、岸和田といえばだんじり。他府県からみればこのイメージを払拭しないといけないと思う。だんじりに頼りすぎ。
● 売り方	● 良い商品はあるが、売り方が下手なイメージがあるため。
● 脱だんじり	● こだわりすぎるから。
● ブナ原生林の活用	● ブナ倒木などの商品化（ブナコ、印鑑など）

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● 伝統（こだわり）	● 岸和田市には海や山からの多くの食べ物や農作物がある。レンズの会社や鉄の会社など地元では有名な、その分野では他の会社ができない技術を持っている。ただその内容は一般の人には伝わりにくく、岸和田の産業とは何かを考えたときに様々な会社や品物が浮かんでくる。その中で何百年の伝統を誇るだんじりは全国的にも有名なキーワードであるが、産業という意味ではまた別であると思う。自社は唯一、大阪泉州桐箆箆として国の伝統工芸品として認定されており、102年間作り続けているが今日では本物の桐の良さが理解されず、本物の桐製品を見たりする機会がないため中国産の桐を日本のものと信じて使用されているのが現実である。10年先も必ずこだわりの日本の桐製品といえば岸和田でつくられていると認識してもらうためにPRしていくつもりである。自分たちが廃業すれば本物の昔ながらの日本の桐箆箆は日本でつくれないと思って仕事をしている。その工房が岸和田にあることを伝統産業の1つとしてさらに市民に知ってもらいたい。
● 岸和田城とだんじり	● 関西国際空港と大阪市内や京都府との中間に位置するが、うまくインバウンドを取り込めていない気がする。 ● 観光資源はあるが、“だんじり”のイメージが強く、その時期以外の観光資源を周知させる必要がある。 ● “岸和田”の知名度はあるが集客施設が少ない。例：ららぽーと和泉（和泉市）、泉南りんくう公園（泉南市）
● 観光に力を入れる	● 岸和田は自然が多いが何もない。山もあるが行っても店がない。東京の高尾山のようなところがあれば良いと思う。桜の季節、久米田池などとてもきれいであるが、あまり店などが出ていない。もしあれば観光地になると思う。トンボ池公園もあれだけ広いのにレストランもない。それがあればさらに行く人が増えると思う。
● 観光地と競輪場	
● だんじり	● 全国的知名度の利用。
● そろそろ祭りしかPRできない観光対策から脱皮してもらいたい、大企業や集客施設の誘致を進めるべきだと思う	● だんじりの形骸化による悪評の積み重ねを市はそろそろ理解すべきだと思う。小、中学校など一部の風紀の乱れの根本はどこにあるかなど、市として周りからクリーンなイメージを持たれるようなPRをしてほしい。祭りだから平気で何でも許されるような風土と思われている地域には一部の人しか集まらないと思う。このコロナ禍で祭りを進める理不尽さに世論はどう思っているのだろうか。市長自ら祭りは神事と逃げ口上を述べているようでは市に何も期待できない。
● 観光	● いつも思うが「だんじり」以外の名所がなさすぎる。さらなる観光名所をつくってほしい。「だんじり」は1年に2回（4回）しかないが、名所があれば四季折々の観光ができる。※桜並木を増やしたり、もみじの公園をつくるなど。また「だんじり」をアピールするには「映え」がなさすぎる。提灯のモニュメントの街灯をつくったり、「だんじり」型のスイーツをつくるなどまちをさらにきれいにしてほしい。
● だんじりにたよらない	● だんじりは貴重な全国的に有名な祭りだが、年に一度であるため、年間を通じて農工商が一体となって発信できるモノ、コトがあればと感じている。期待している。
● 日本のモノづくりの一拠点	
● 魅力的なまち	● レストランや店など行きたいと思うようなところが浮かばない。
● 岸和田祭りへの偏重によるイメージ低下	● 産業連携などにて市内への学校誘致などで人気のある岸和田市へとイメージの革新を早急に進めないとどうにもならない。東京から大阪への通勤者が北摂ではなく、岸和田市に移住したいと思うようなまちづくりを希望している。
● 夢のあるまち	● 岸和田には何があるのか？現在はコロナの影響で海外との交流もままならない状況ではあるが、より早く立ち直るためにも今すぐ準

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
	備をしても遅くはない。関西国際空港と大阪市の中間に位置する岸和田に！！零細企業でも海外に進出する時代である。若い人たちに夢あるまちにしてほしい。
● 岸和田市内の交通網の整備	● 高齢化社会における市民の移動の簡素化、慰安の場所、泉北高速鉄道の市内山手横断、憩いの場所設置、安心・安全のまちづくり（25万都市へ）
● いかに税収を循環させ、個人も事業所も住み良い岸和田を実現するか。	● 岸和田市内の事業所が、他の地域へ物品の販売やサービスの提供（貿易）を通じて、収支を黒字化するように行政が補助（投資）し、結果として各種市税収入の自然増により、他の地域と差別化したインフラの整備や行政サービスを行い、人・物・金が集まってくる仕組みを構築する。
● 何か特化した地区をつくる、人口を増やす	● 駅前商店街に活気を戻す。（例えると下北沢 古着、音楽、演劇）若者が集まるまち。 ● JRより山手に新婚の人たちが住みたいまち。（児童館、公園、ドッグラン）
● 人のふれあい	● 建築業に携わる人に関連したイベントを1年に1回もしくは4年に1回でも良いので岸和田市がマッチングして開催してほしい。仕事の機会が増えると思う。
● 目標和泉市（かなり遅れをとっている）・防災	
● 岸和田市消防設備点検などに入札参加しているが金額の下限のないのが不満である	● 予定価格に近い落札価格で行ってほしい。
● 市内の道路整備	● 当社は第二国道と裏側の道が両方利用できるため利便性はあるが、車との入れ違いがあるためバックミラーの設置を検討してほしい。
● 岸和田駅周辺の活性化	● 和泉市にはららぽーとができ、市全体が活性化して人口も増えているが、岸和田市は特に浜方面が全然にぎわっていない。
● 生活の利便性を良くするまちづくり	
	● 岸和田市民は自分が一番だと思い込んでいる人が多い。世間知らず。外に目を向けている人が少ない。
● 大阪市、堺市に次いで3番目の市の力強さ	● インターネットで岸和田市が大阪府で3番目にできた市だと知ったから。
● 視野を広げる	● 自分のことだけを考えるのではなく、本当に岸和田市のためにがんばることが大切である。
● 閉鎖性の打破	
● 現在～未来へ 整備されたまち（岸和田）へ	
● 活性化	● 活気あるまちになるため。
● 祭りにお金を使いすぎではないか	● 防犯や通学路のチェックをし、危険な道や場所、交差点などを見直してほしい。
● まちづくりのアンバランス	
● 山	● 岸和田は和歌山県と接しているが、道がないため和泉市や泉佐野市、泉南市などに比べ往来が少ない。このため比較すると他の市町村より山手へ意識が向きにくくなる。
● 和泉市のように！！	
● 目標が必要	● 岸和田市自体、何を目指しているのか明確でない。
	● 近隣の産業、商業などすべてにおいて遅れていると感じているため岸和田市の発展はあきらめている。

【4. 人材】

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● 若者が住みたくなるまちづくり	

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● 祭りに力を入れすぎ	● 教育レベルが低い。企業の誘致。鉄道の延伸。
● 網でとらえた広域行政	● 阪南ブロック、大阪圏といった点や面にとらわれない。全国規模での官・産・学での協働体制と考える人材を役所で確保してほしい。
● 子どもの教育	● 高齢者にお金を使うよりも未来のある子どもにお金を使ってほしい。大阪府下でも学力が低い。税金の使い方が間違っていると思う。
● 想定・リスク管理	● 新型コロナウイルス対策が万全で安全安心に従業員が勤務できるから。
● 育成（いくせい）	● 高齢化がすすみ、ひとり住まいの家屋などの問題や福祉を考え助けてくれる若い人たちをいろいろな分野で育ててほしいと思う。（伝統や産業の面でも）
● 若者が集まる場所（ショッピングモール以外）	
● 産業振興対策	● 周囲の市町村に対して南部地域（泉北1号線から170号線沿いのエリア）の開発が遅れている。特に商業施設にのみ開発許可を出すのではなく、工業団地や工場についてもさらに積極的に土地の用途変更などを柔軟に対応していくべき。そのために必要なインフラ整備を市主導でしていかないと人口も減り、さらに働く場もなくなり衰退していくことになる。
● 人口増加	
● 住みやすいまちづくり、人口の増加対策	● 南北で格差がある。どうすれば岸和田を活性化できるのか知識のある人を集めて本気で考えてほしい。
● 若いまちをつくる	● 人口動態の変化。マンションができれば新しいファミリー層が増え、まちが若くなる。岸和田市の山側には可能性があると思う。泉北線が延長すれば「駅チカ」にまちをつくれる。泉北エリアはマンションも多いが一世代前のまちになり、現在は和泉市にマンションがたち小学生以下の子どもがいる若いファミリーが多い。順番でいけば次は岸和田に若いまちをつくれれば、より市内全体の産業活性化につながると思う。
● 職人	● 大工や左官屋など若い人がいない。
● 農業も必要だが人口を増やすために調整区域をなくす。交通の利便性を良くするために山手の方まで延長する。	
● 岸和田駅周辺の整備、春木駅の高架、企業の誘致	● 人口の増加（働く人）
● 人口増加	● 山手への鉄道整備・高層マンション建設・泉州地域、和歌山、大阪、関西から集客可能な施設の誘致（IKEAなど） ● 泉州地域住人の移住者に対する意識改革（やさしく受け入れる意識など）
● 教育	● 現在の小学生や中学生に、岸和田市を活性させるための社会的なことや経済的観点を教育していかないと将来の岸和田市には中小企業が育たないと思う。
● 大企業の誘致または大きなマンションの誘致など人口の増加を考える	● 商売人にとって人口が増加することが一番だと思う。
● 人材育成	● 教育環境を良くして若い人が住みたいところにする。北大阪のようにしていかなければ将来はない。祭りなどに頼っていてはいけない。他の地域から住みたいまちにしないといけない。それをする事で各産業が発展すると思う。有名私立大学や医科大学の誘致。

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● 人口増加	● 大阪市内より比較的近いにもかかわらず人口が減少している。小さな子を持つ親は教育熱心な人が多いが、岸和田には準ずる魅力があるのか疑問である。
● 子どもたちへの教育	● 教育する人の人材が大切。子どもが安全に歩け、遊べる広場や道が重要。こんなまちに将来住んで家庭を持ちたいと思えるまちにしてほしい。
● 子どもたちの希望	● 安全な広場、道。教育をする人材。多様な考えや実力を持つ教育者。
● 人が集まる	● 人が増加すれば何かできる。
	● 継ぐ者がいないため廃業を考えている。来年から調査票は送らないでほしい。
● 人口増加	
● 商店街や岸和田カンカン周辺の活性化	● 9月祭礼時のみではなく、年間を通して活気のあるまちになってほしい。 ● 祭礼だけに頼っても岸和田市に住もうと考える人は増えないと考える。 ● 若い人が住みたくなるまちでなくてはいけない。
● 働きたくなるまち岸和田	● 今まで住みやすいまちを目指して力を入れているようだが、地元の人以外は住みにくい岸和田になっていると思う。交通面でもそうだが、さらに市外から働きに来てくれるまちづくりが必要だと思う。
● 企業誘致と住民支援	● 企業誘致し税収を上げる。 ● 住宅支援で人口を増やし消費拡大する。
● 利便性のあるまちであり、若い人たちが増えること	● 山手の岡山町に住んでいるが独居老人が多くなった。車の運転ができなければ住み続けることはできない。元気で1人で動くことが可能な間は岸和田市に住み続けることができるが、体が不自由になればさらに利便性のあるまちに移住すると思う。
● 職員の専門分野の人材育成	
● 子育て世代にとって住み良いまちづくり、未来創造計画	● 子育て＝未来。子育てを大切にしなければ未来はない。 ● 子育てよりも親育てが必要な時代。親の意識改革 ● 向上をしなければ良いまちにはならない。 ● 歴史、文化を重んじながら先につなげるために、質の良い教育環境やコミュニティ、行政の方向性など様々な分野が連携して未来をつくらなければならないと感じる。
● 私学（大学）誘致	● 若い世帯増加、経済効果大。
● 次世代、活気	● 少子高齢化が進む中で「10年後の産業」の発展の重要なキーワードになるのは次の世代や若者たちだと思う。産業の発展には必ず若者の勢いや力が必要となってくるため、岸和田市が何か事業を始めたい若者への支援を実施することで10年後、20年後の岸和田の産業は今よりもさらに発展すると思う。
● 人材	
● 人口増加	● 産業発展には若い働き手と顧客が必要だから。
● 技術力の向上・多職種連携	● 先日より若い人の職業訓練の場を設けて学校とも連携し、社会への第一歩がスムーズにいくように経験させている。 ● 少スペースに他業種の人たちが集い、顧客の連携をはかっている。
● 空き家不動産のリサイクル	● 空き家などのリフォーム（時代にあった環境配慮）などの家をつくり、店舗や居住する人を増やしたい。
● 少子高齢化社会	● 人を中心とした経済成長。（支えあう社会の推進） ● 生産年齢の延長。本人の意思による定年なし社会の実現や何歳になってもチャレンジできる教育制度の創設。

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● 企業誘致・大学誘致	● 岸和田市は「だんじり」や「岸和田城」という歴史と伝統のある非常に魅力あるところであり、南海岸和田駅には特急も停車し、JR阪和線でも線路が一部高架化されていることから、利便性も良いところである。また自然も豊かで、海・山にも近く、環境的にも申し分のない地域である。しかしながら人口は減少しており、少子高齢化も進んでいるのが現状である。若い世代にとって魅力ある地域にしなければ、今の人口流出や高齢化がますます進むと思われる。それを未然に防止するためには、まず働く場所・子育てに適した環境・教育の充実・商業施設などの充実・高齢者施設の充実など、対策は多岐に及ぶ。岸和田各地域に、それぞれの特色をさらにいかしたまちづくりをすることで若い世代に「移住したい。住み続けたい。」と思わせることが必要と考える。
● 東西道路インフラ、人が集まるまちづくり	● 東西の移動が時間がかかりすぎる。他の地域からの人口増が少ない。
● 外国人の受け入れと教育・支援の充実	● 外国人の父母を持つ子どもたちの学校や孤児院の教育内容を改革させることにより、日本で先駆けて先住民と移民が協力しあえる社会をつくれれば繁栄し、活性化される。
● 教育	● ばかな親が多すぎる。将来を担うべき若年層にさらに学ぶ機会を与えるべき。

【5. 産業を支える機関】

キーワード	キーワードを挙げた理由やアイデア
● 市役所の移転問題は解決されているのでしょうか？	
● 岸和田市内にある会社へ優先的に発注する	● 他の地域に発注が多いと感じる。地元企業を無視している。
● インバウンド誘客	● 予算消化のため「とりあえず取り組んでいる」というのではダメだと思う。
● 国、府との連携がまったく取れていない	● 周辺の市町村は大型商業施設や企業などを誘致できているが、当市はそのあたりが遅れている。今年の祭礼を実施するにあたり、自主警備や自主運営に任せて行政としての責任を回避している。
● 安心して安全に外出や外食を楽しめる環境づくり	● いずれ緊急事態宣言やまん延防止重点措置の期間が終了しても、連日のようにニュースで「コロナはこわい」「変異株の流行」「感染防止のためにはステイホーム」「営業時間は短縮」「外食は4人まで」・・・などと言われていては安心して外出できないと思う。そうすると外食産業は発展せず、協力金がストップすると、ますます厳しい状況になることが予想される。岸和田市だけでなく、大阪府からも日本政府からも「もう大丈夫」「安心して外出もOK」「外食も安心・安全」などと呼びかけてもらえる状況に1日でも早くなしてほしい。今年の3月のように、大阪市内はまん延防止、大阪市内外は解除のようにするのが1番良くないと思うため、地域で区切るのではなく大阪府は大阪府全体で同じ方針になることを望んでいる。
● 交流（産学官）	● このようなアンケートがあっても話し合う場がない。なぜアンケートが来たのかも不思議なくらいである。事業内容によっては交流があるのかもしれないが、自分たちの業務においては無い。
	● アンケートを送るのをやめてほしい。アンケートによって何か変わるのか疑問だ。

新型コロナウイルス感染症の影響及び
岸和田市の産業振興に関する事業者アンケート調査
結果報告書

発行：岸和田市 魅力創造部 産業政策課

TEL：072-423-9485

FAX：072-423-6925

発行年月：令和３年９月